

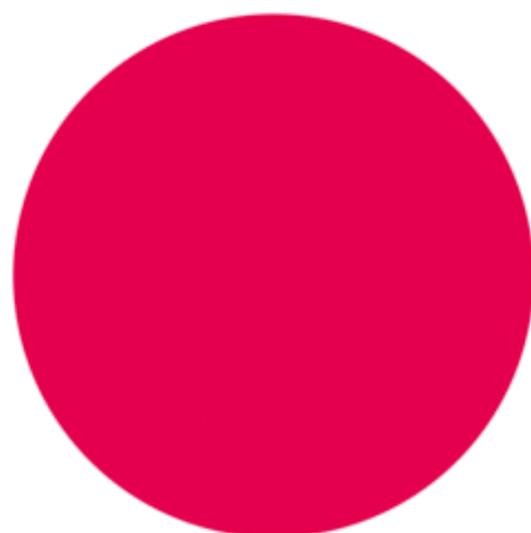


この作品は、パソコンなどでの閲覧を想定して制作された  
「デジタルコミック」となっています。

ところどころ、G I Fアニメを活用した動く演出が用いられておりますので、  
閲覧に際しては、G I Fアニメが再生可能なビューワソフトを  
ご使用なされることを推奨いたします。

IrfanViewなど一部試しましたが正常に再生できないものもありました。  
再生ソフトに関しては添付してある「始める前にgifアニメ閲覧ソフトについて」  
をご参照ください。

この赤丸が左右に動いて見えていれば  
再生環境はバッチリです。



は！  
...



は  
!

は  
!

息嚙らおぢ...

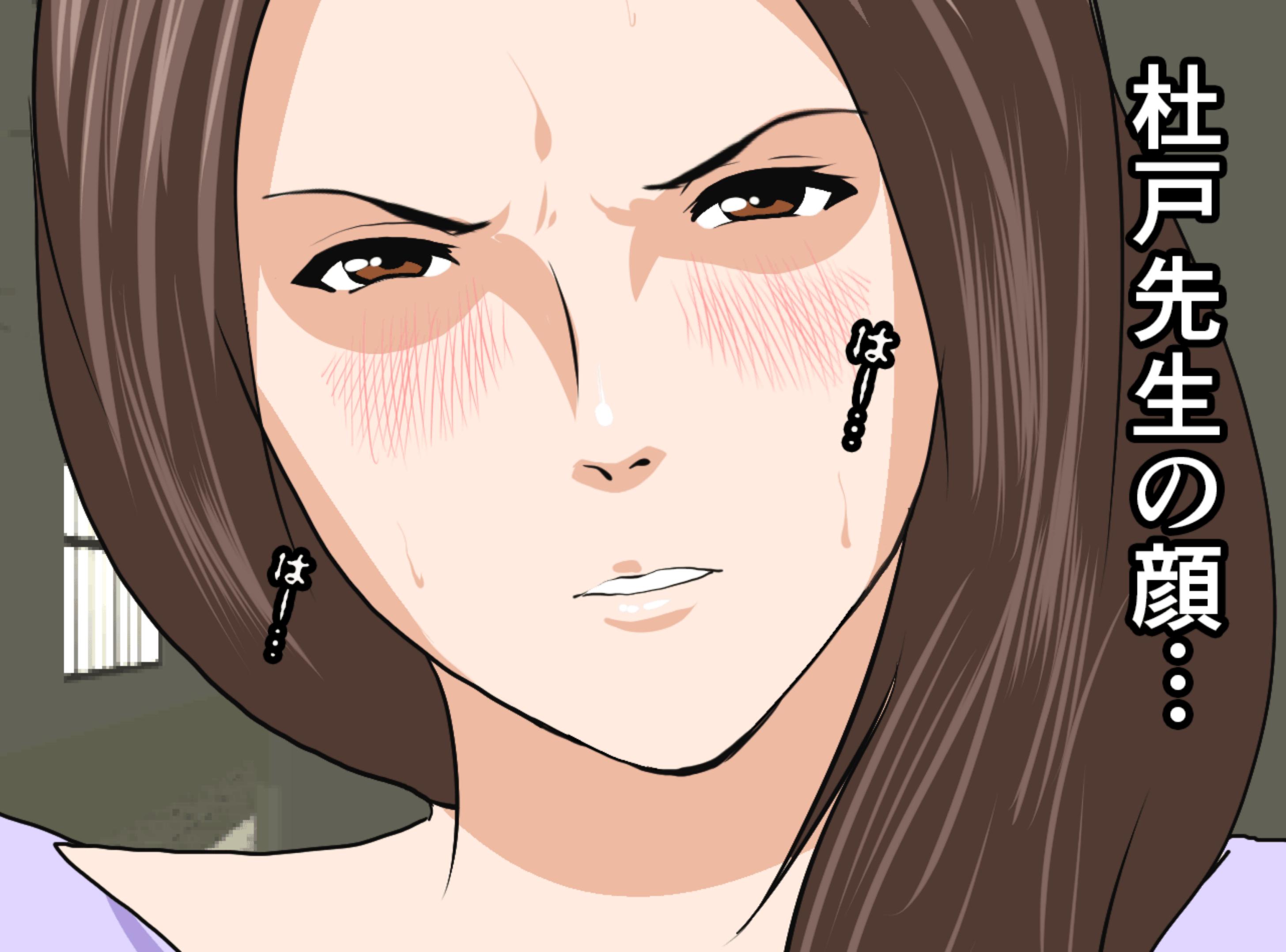
聴んぞんぞんぞんぞん...

は...

は...

近い...

杜戸先生の顔……



突然…先生に…

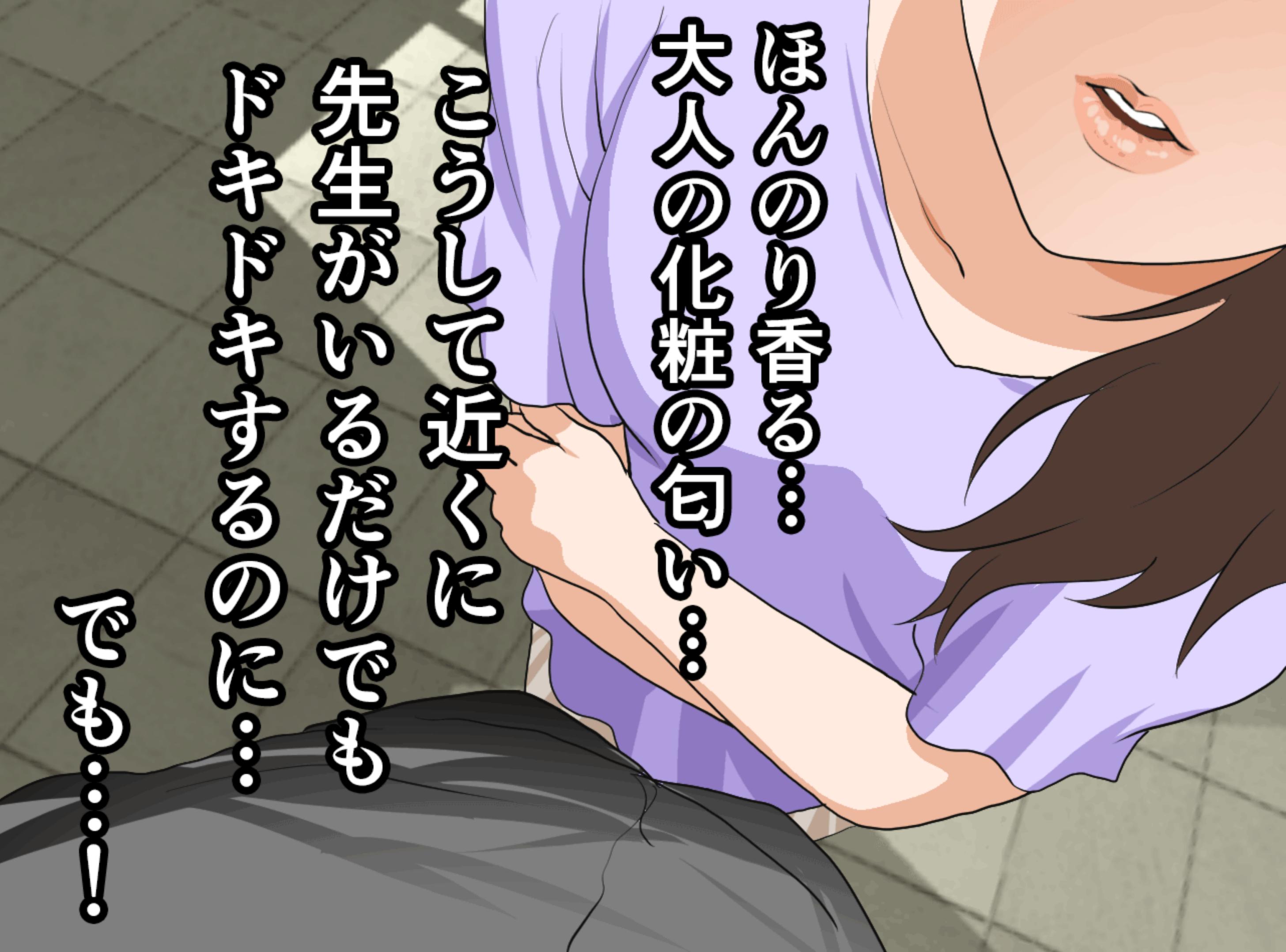
呼び止められ…

ちよつと…  
話があるんだけど

いかしら…？



気が付いたら  
学校の廊下で  
もうこんな状態だった……



ほんのり香る…

大人の化粧の匂い…

こうして近くに

先生がいるだけでも

ドキドキするのだ…

はい…!!

な…な…なんか…

怖い…

その先生の顔は

怒っているように

見えただ…

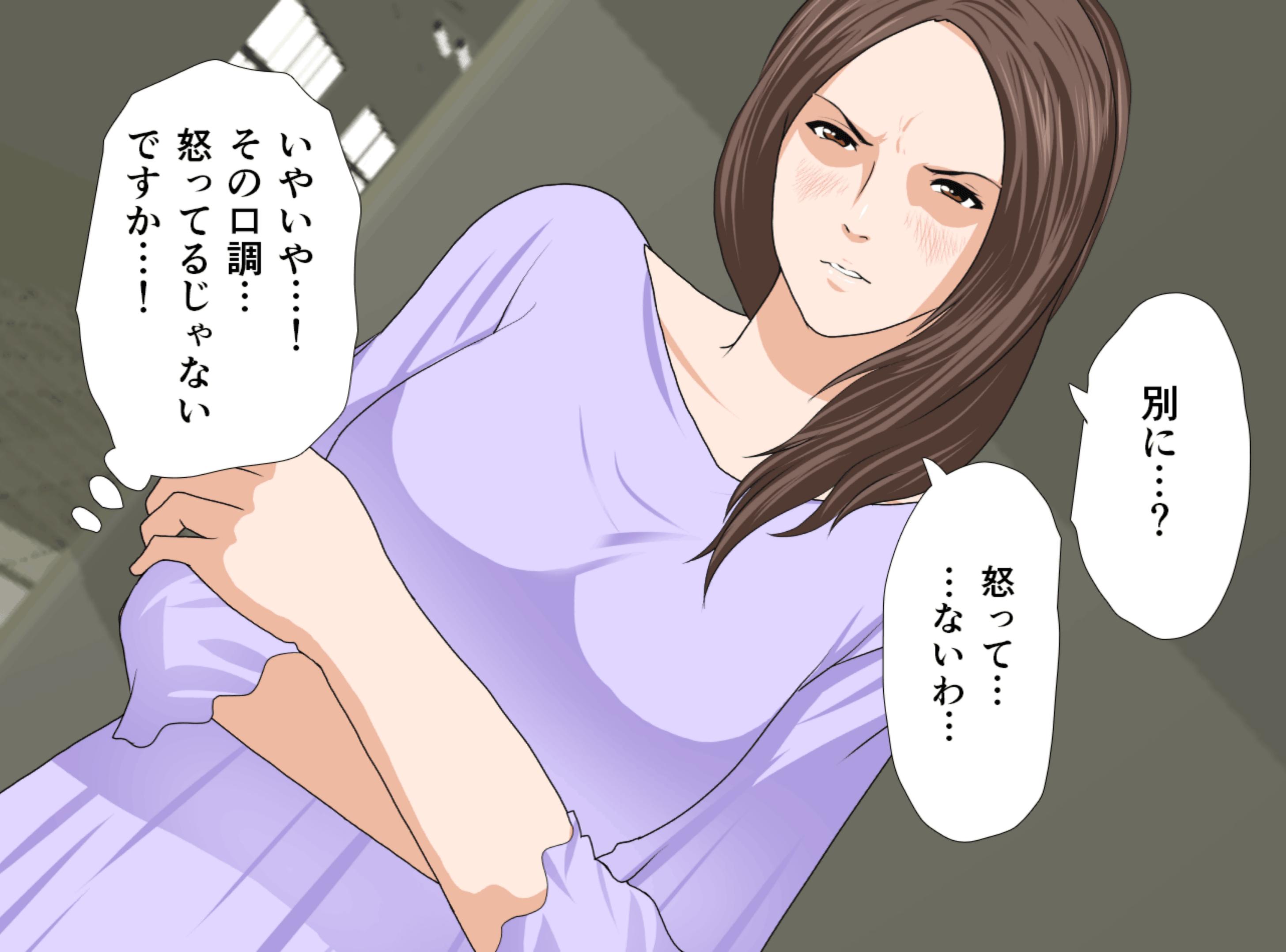




あ…あの…っ

な…なんですかっ？

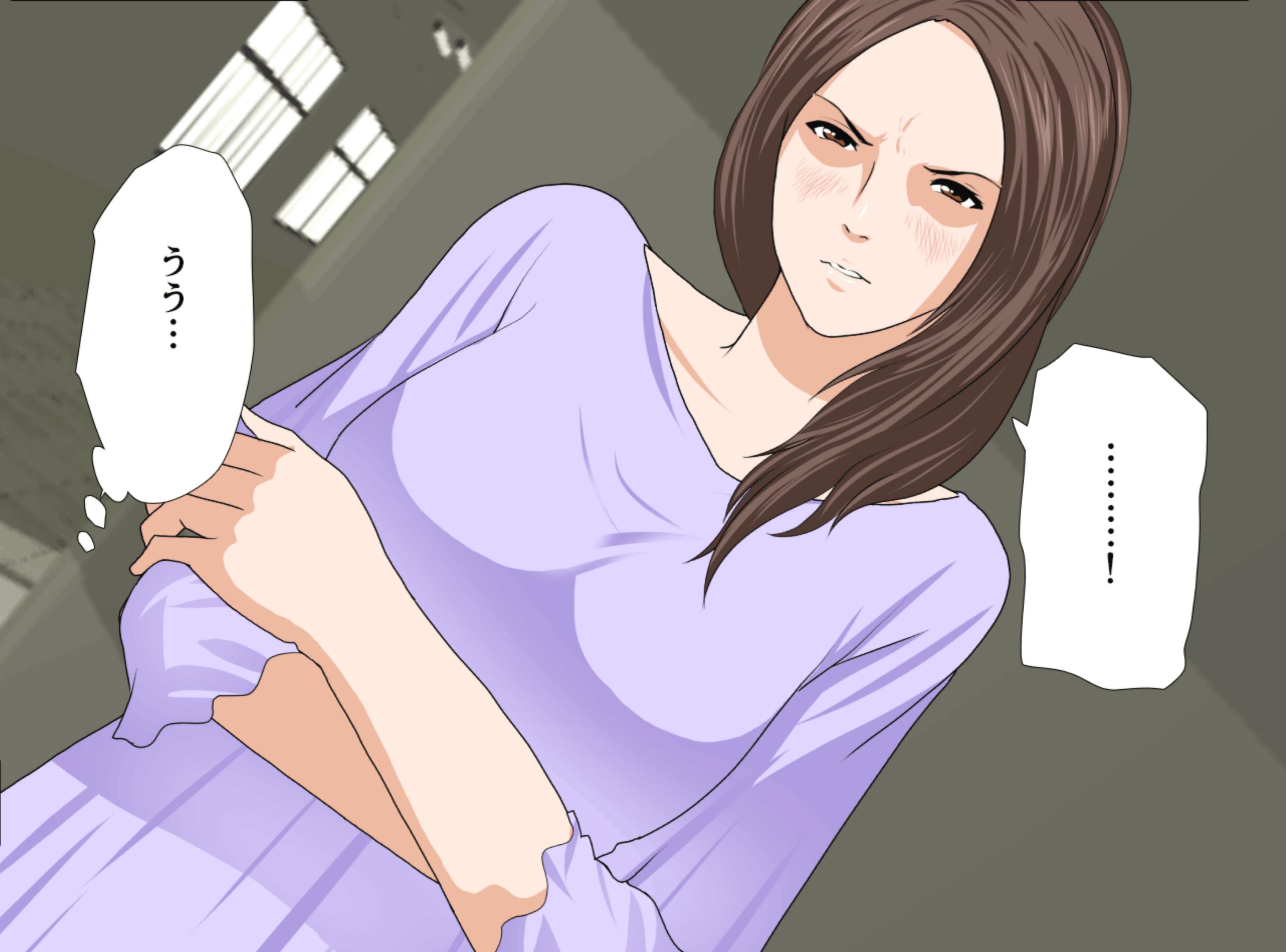
そ…それにつ  
なんか…先生…  
お…怒ってません？



別に…？

怒って…  
…ないわ…

いやいや…！  
その口調…  
怒ってるじゃない  
ですか…！



...ウウ

...!

大体さっきから  
無言で…  
目の前に立って  
睨んでること自体  
おかしいしっ…!!

でも…なんだ？  
僕…杜戸先生に  
何かしたっけ？

確かに昨日…

今日は  
すみませんっ！

あっ  
ちよつとー！

「話がある」と

言われたのに振り切って  
帰っちゃったけど…



でもおれが  
そんなんじゃ...?

.....

.....

正直……本気で

何で怒ってるのか

わからなかった……

.....





だげど……こんな状況で  
不謹慎だげど……

杜戸先生……

やっぱ怒った顔も……

奇麗だな……

整った目鼻……

その顔で

どらまられる……

ドキドキ

しゅわん……  
しゅわん……  
しゅわん……

それ……

誰よりも等しく...

いつでも優しい微笑みを  
向けてくれる...



そんな先生が...





僕だけに  
感情をむき出しにした…  
こんな表情を  
晒しているんだ…！

そう思うと…  
僕だけ特別な気がして…  
なんだか…これはこれで  
悪い気はしない…

アレ……？

……どうすんのよ……

……

なんか前にも一度

え……？

こんなことがあつた気が……



私…  
結婚するのよ…

先生に…

知ってるでしょ…

素の感情を…

ぶつけられた

は…はい…

ことが…

.....ああ.....

杜戸先生って.....  
怒った時にこそ

一番素の表情に  
なるんだな.....

どうして.....



ねえ...

...!

...!!

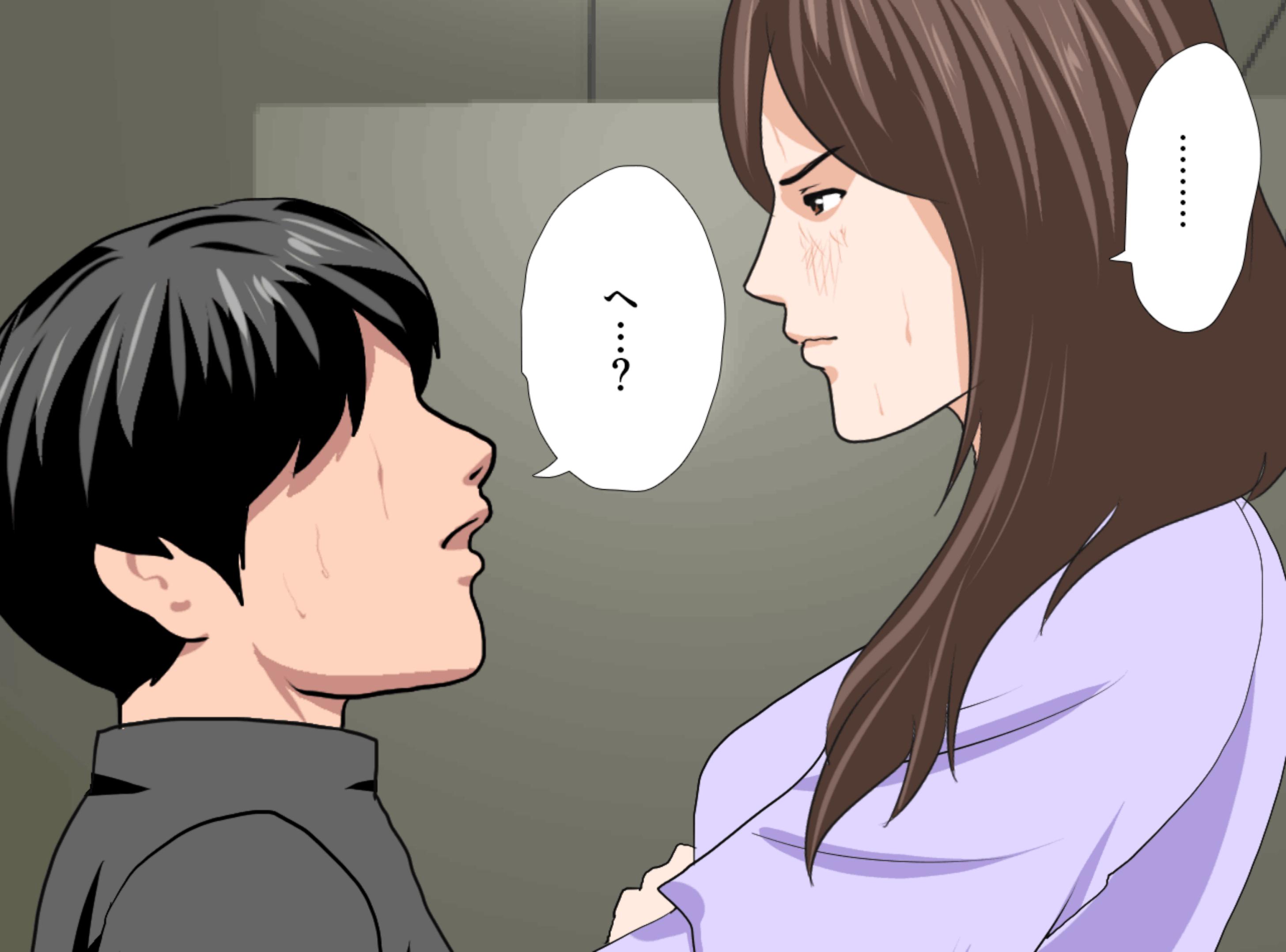
...!!

あなた…

私のこと…  
好きだったんじゃないの…？

あ…あ…あ…

あ…あ…あ…



たっ...

.....!

たっ...

たっ...

ちよっ...  
ちよっど...!

こんなところで...!

黙りなさい...

私のことが  
好きとか  
言っておきながら…

同棲とか  
始めて…

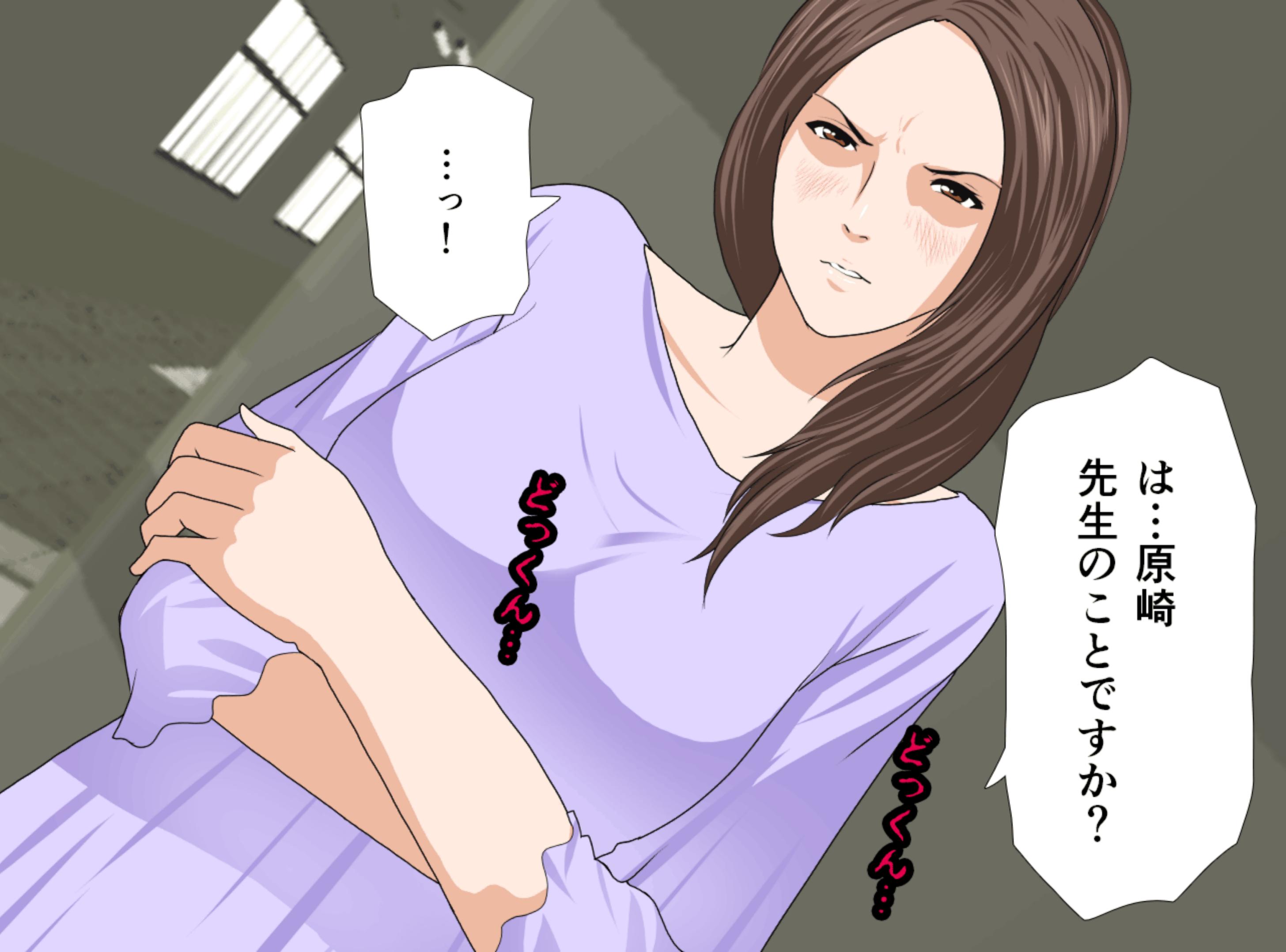
学校でも  
いちやいちや  
いちやいちや…

……っ！

かっ…  
かっ…

かっ…  
かっ…

かっ…  
かっ…



...

は：原崎  
先生のことですか？

...?

...?



ええ…だ…だ…だって  
原崎先生は  
だ…第三次彼女に  
なったわけで…

す…

ええ…ま…ま…  
まさか…



杜戸先生…  
嫉妬してる…のか？

それを言うなら  
い…今までだって  
紫藤先生とも  
してきたし…

紫藤先生の時とは…  
なんかちがうのよ…

あの子とあなたの  
様子見てると…  
なんだかほんとの  
カップルみたい…

ムムムム…

ムムムム…

!

ずっと私に  
憧れてたって言ってた  
くせに…

なによ…新しい先生と  
イチャイチャいちゃいちゃ  
しちやって…

せ…せんせっ  
だ…誰か  
来ちゃいますって  
こんなところで…!

うわあ…

し…嫉妬してる…!

え…えいらいらぬじやないか？

あ…あの杜戸先生が…

こんな…

…

…

ねえ…

私…婚約者を  
捨ててまで…  
あなたに何度も  
抱かれたわ…

危険日に…  
何度も何度も  
中出しされた…！

……！



もう既に…  
お腹に赤ちやんが…  
宿ってるかも  
しれないのよ…

そのことを一体  
どう考えてるの…

……

……

……

あ…

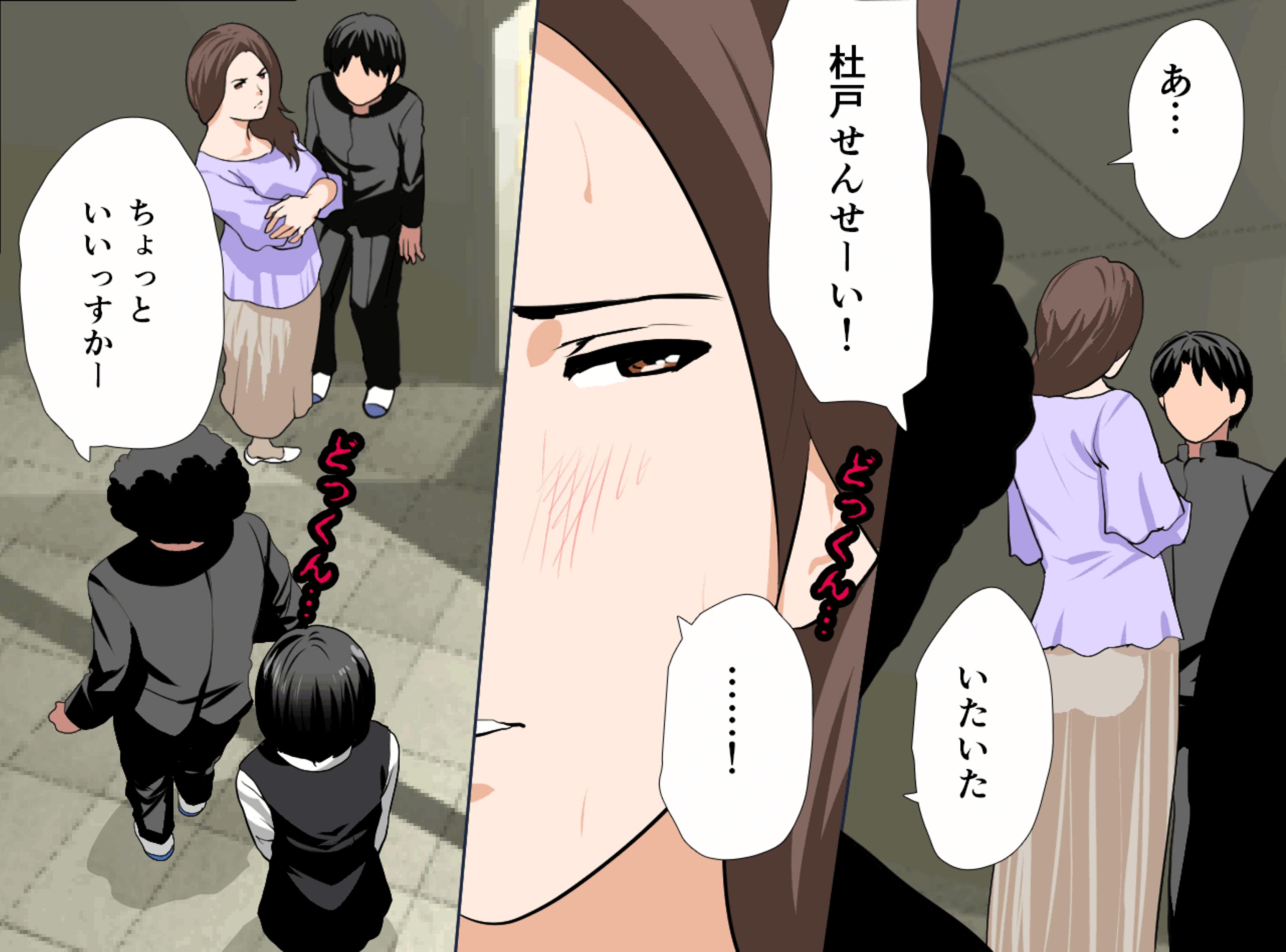
杜戸せんせいーい！

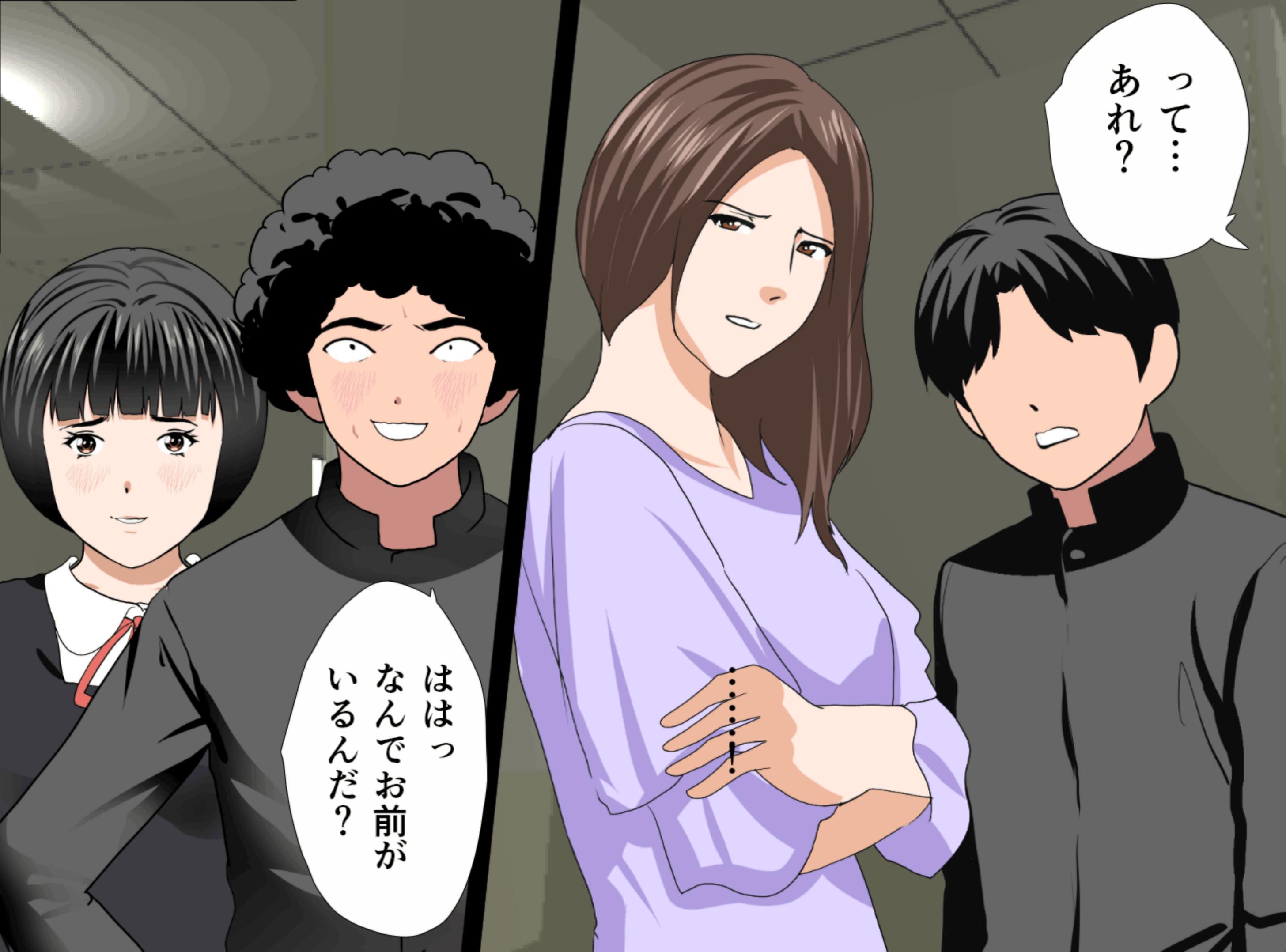
いたいた

……！

ちよつと  
いっすかー

あ…





って...  
あれ？

ははっ  
なんてお前が  
いるんだ？

あ……ううん  
な……

なんでもないのよ……  
何か私に用事？

杜戸先生……  
この学期末で  
学校……辞められる  
じゃないですか

そこで……  
みんなでお別れ会を  
開こうかと思っ  
うんです

つきましては…  
ぜひ先生に  
出席して  
もらいたいと…

僕も含めて  
杜戸先生に  
憧れてた生徒たち  
からの…ささやかな  
お別れ会です…

お別れ…  
会…



.....



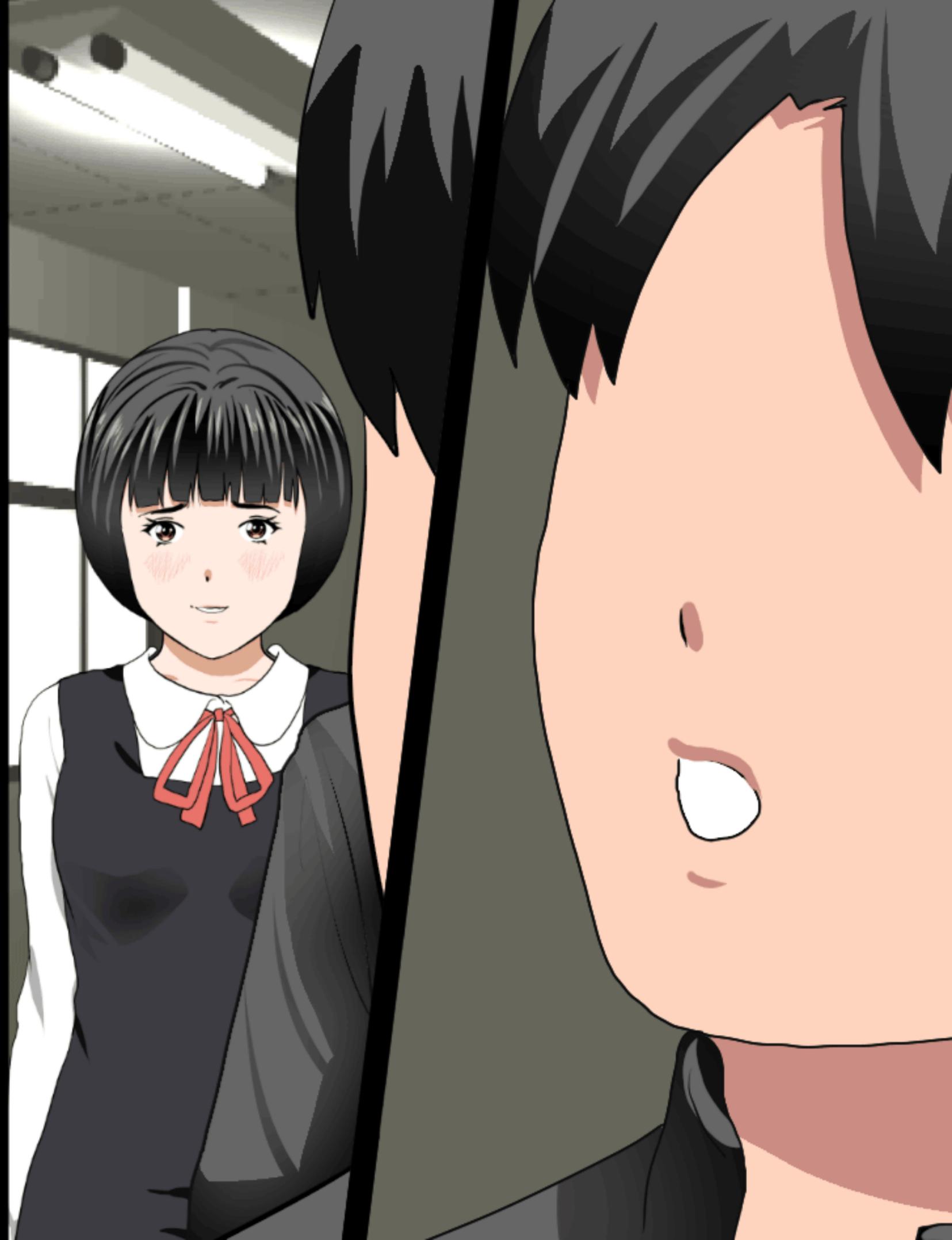
.....

いかがですかね……？

といっても…  
まだ会場も  
決まってるなくて…

僕たちの主催だから  
お金もそんな  
かけらんないんですけど

でも念のため…  
終業式の日…  
その後の予定だけでも  
聞いておこうと思って



勿論！  
予定はあけとくわ！

喜んで  
出席させて  
いただけるかしら！

やった！

……！



あの…  
紫藤先生から  
伝言…

何やってんだ  
行くぞー

ありがとう  
ございます！  
早速みんなに  
伝えなきゃ！

あ…うん  
先行ってて

あ…でも…お金なんか  
かけちゃだめよ  
ささやかなのでいいからね

今日の「授業」  
なんだけど…  
5時半に教室に  
来てくれる？

5時半…？

え…いつもより  
遅いね…

なんで…あ！

原崎先生と  
買い物に行く  
約束…！

しまったあ…  
どうしよ…

へえ…

っ…！

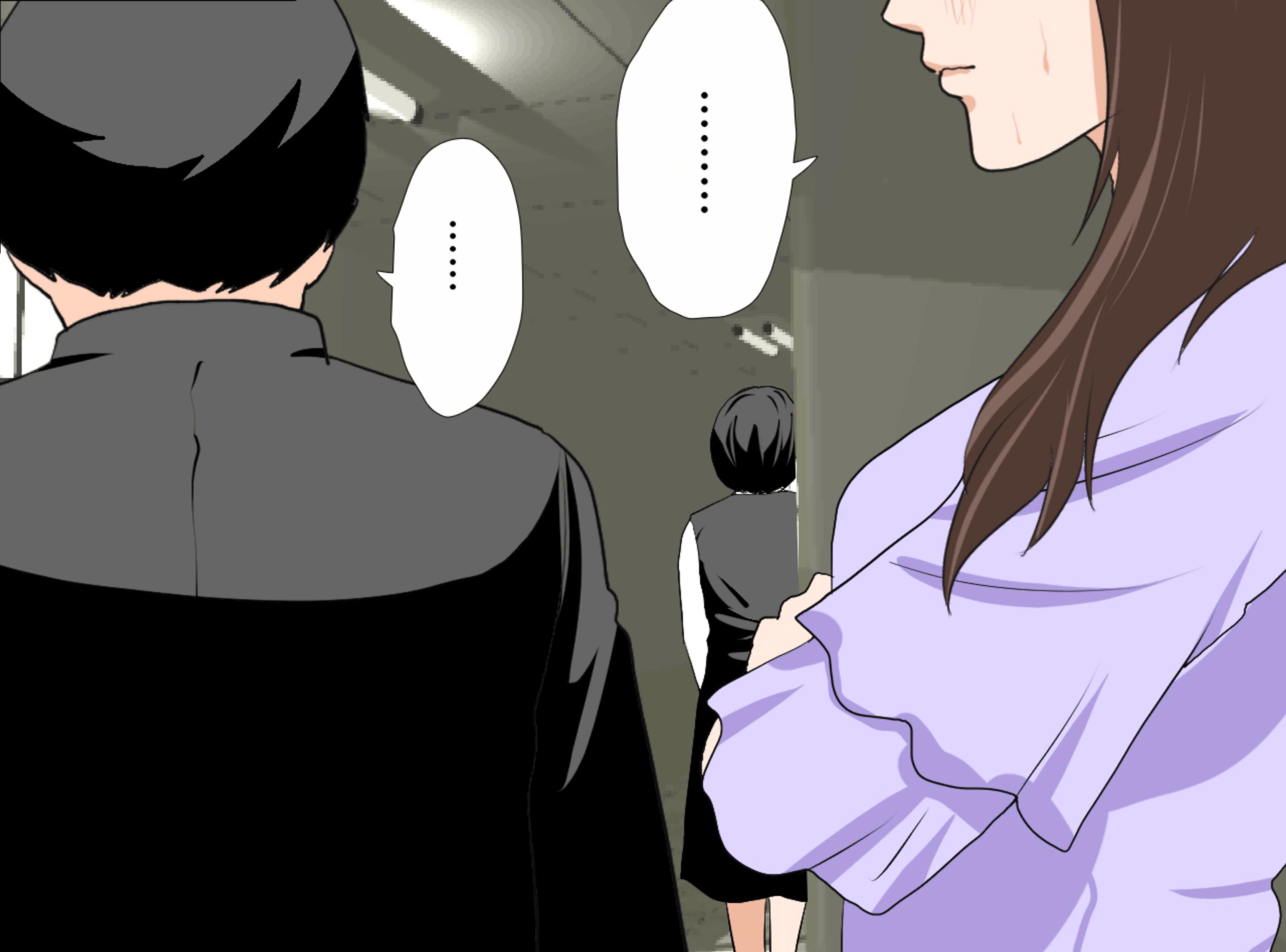
買い物行くの…？

また放課後…



伝えたからね…

じゃ…



…買い物…ね…

二人で新生活の  
グッズとか  
買いに行くの  
かしらね…

仲がよくて  
羨ましいわね…  
ほんとの同棲カップル  
みたい…

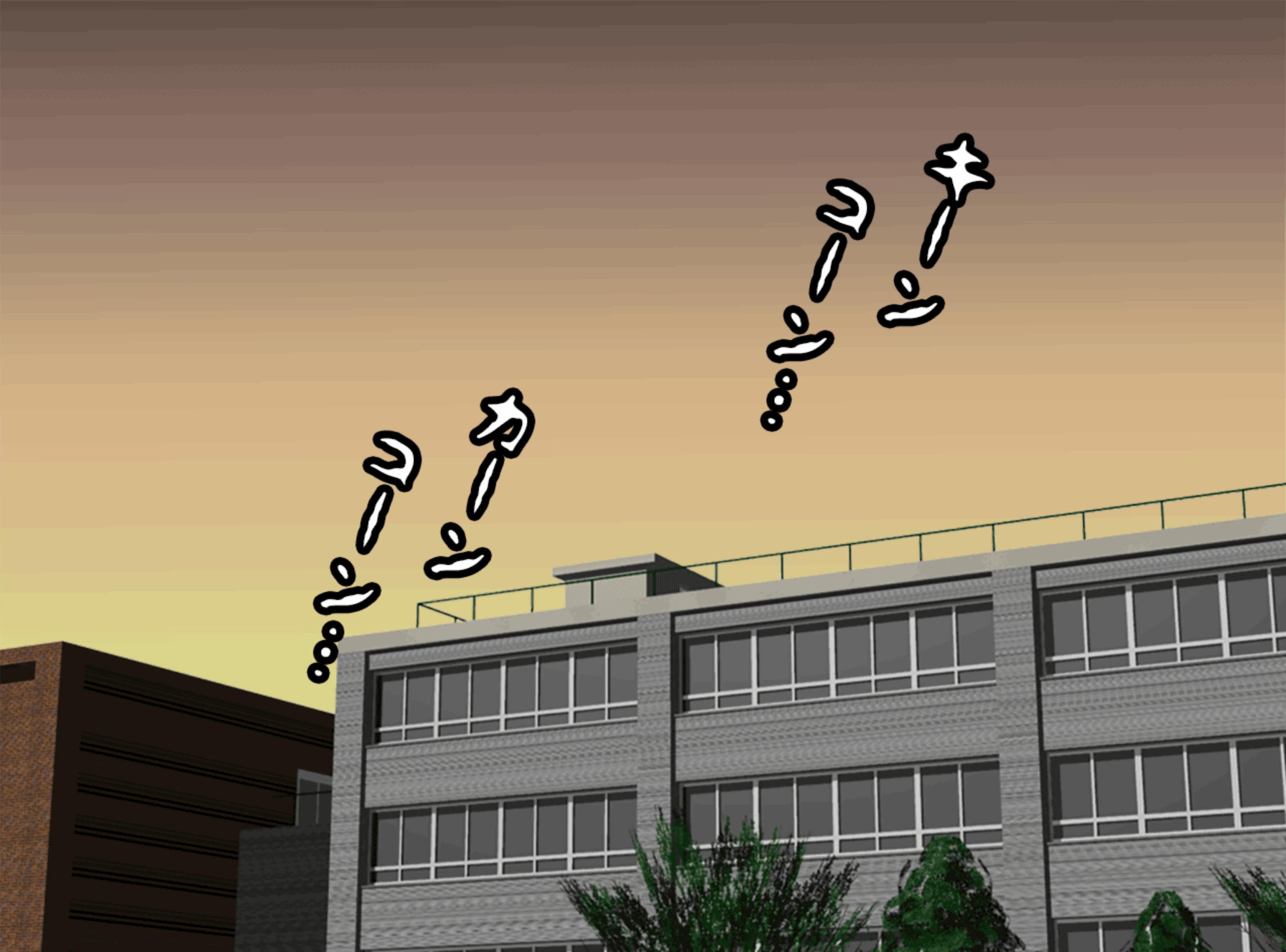
人の家庭は  
壊しておいて…



ほんと…  
仲がよろしい  
こと…

…





催眠人生教育

ちよこよ...

もう...  
なに...?



すみません…

もう…何か  
あったの？



そこにいる  
プレイボーイ君に  
聞いてみたらー？

.....!



さあー

別に  
何もー？

も...り...

まあいいわ...

また後で  
じっくり話を  
聞いてあげるから

何やってんのよ  
二人とも...

カカカ...

カカカ...



⋮  
!

とりあえず  
授業を始めましょう



前回、この子たちの  
教育はいったん、  
私に任せてほしいと  
言ったな…

色々考えたのだが、  
今日から始めようと  
思う…そこで  
キミも協力してほしい  
んだ

……



.....?



.....

してきましたけど……  
これから一体  
何をするんですか？

……



3人とも……  
私の言った通り  
してきたな？

いや…実は…

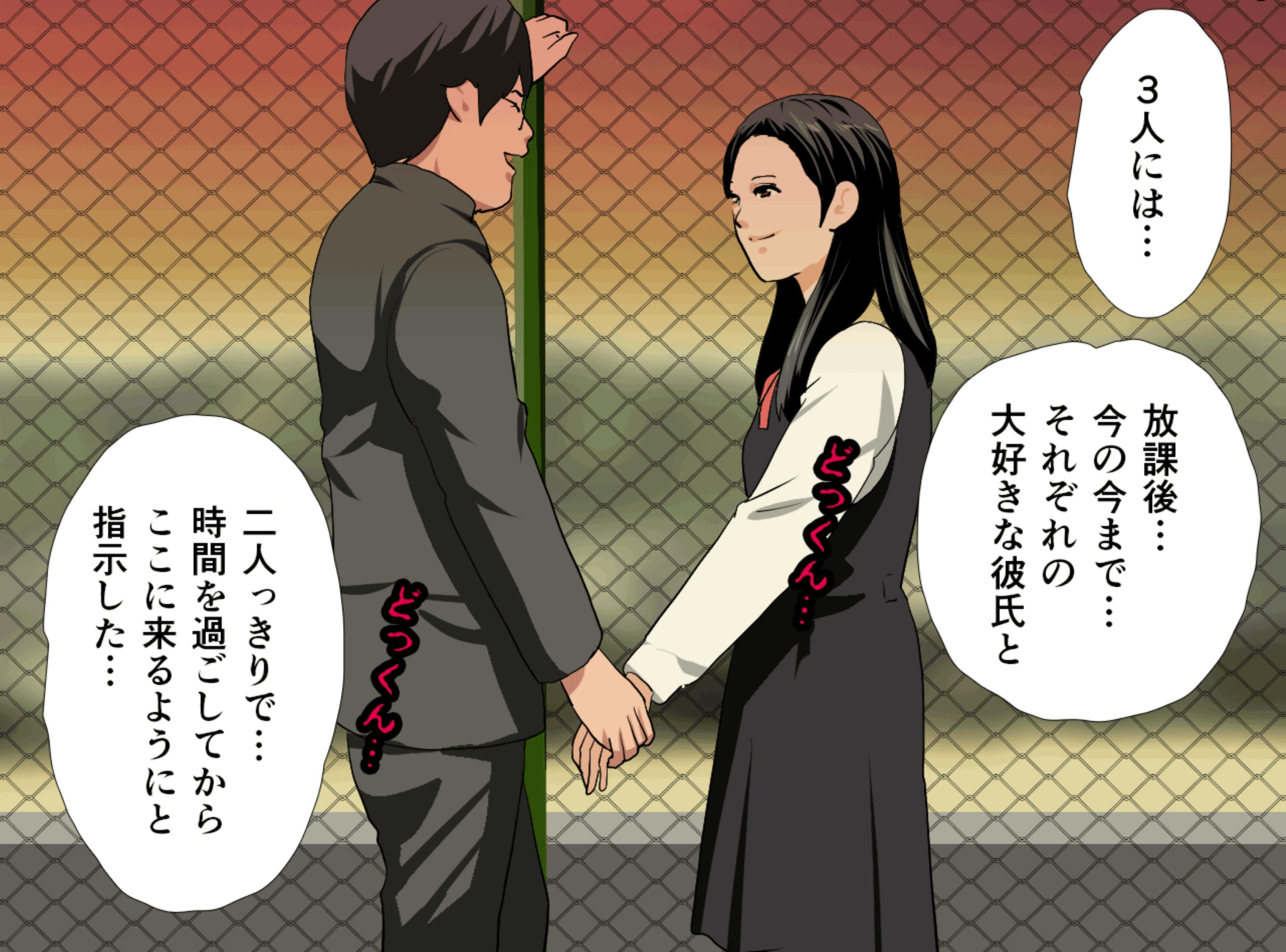
3人には  
放課後から今までの間  
それぞれの彼氏、  
恋人と一緒に時間を  
過ごして  
もらってきたのだ



そ…それぞれの  
彼氏と…？

そうだ…

今日の授業開始が  
少し遅くなったのは  
そのためだ

A man in a dark suit and a woman in a dark dress with a white long-sleeved shirt are holding hands. They are standing in front of a chain-link fence. The man is on the left, looking towards the woman on the right. The woman has long black hair and is smiling slightly. There are three speech bubbles containing Japanese text.

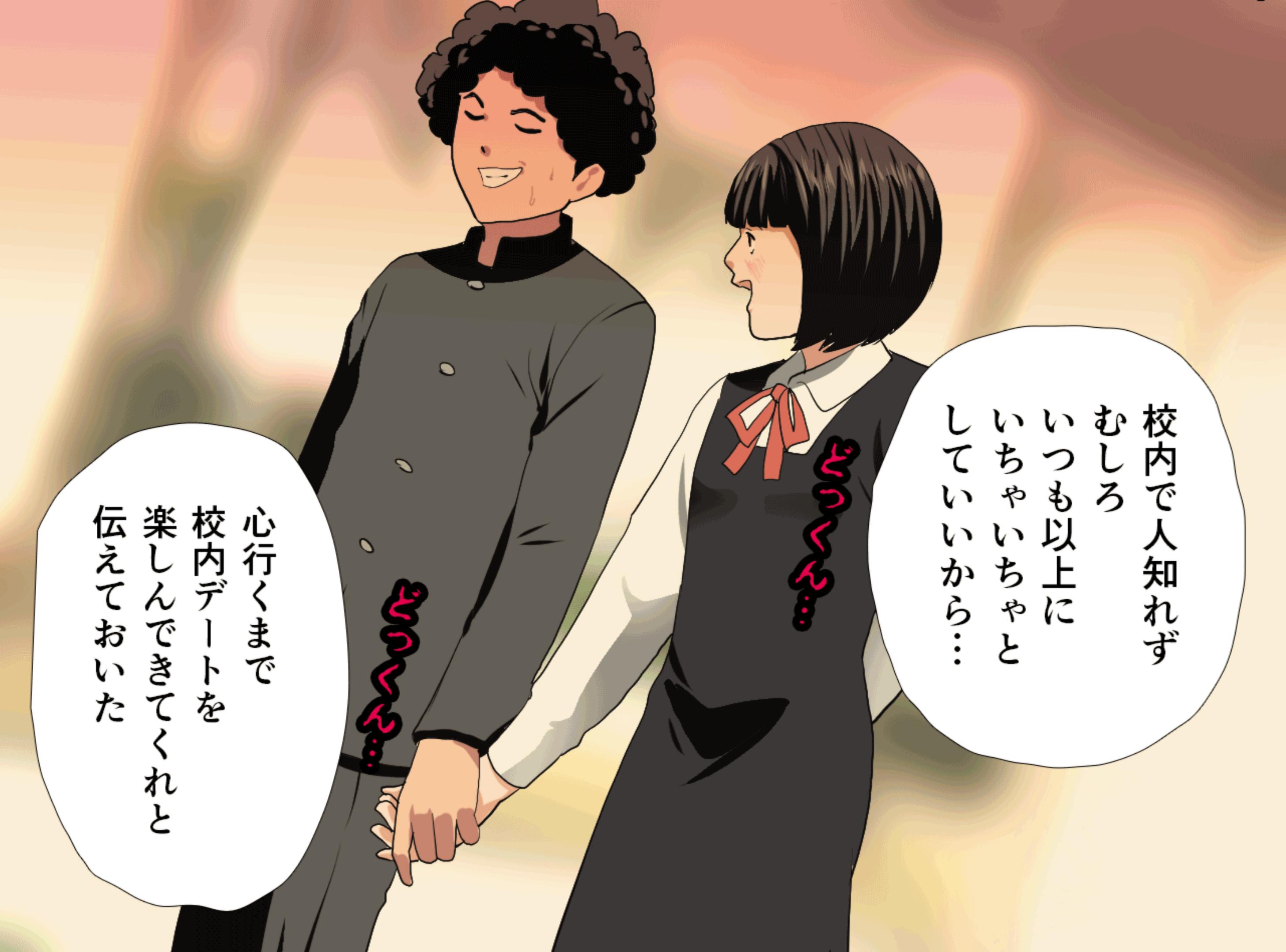
3人には…

放課後…  
今の今まで…  
それぞれの  
大好きな彼氏と

二人つきりで…  
時間を過ごしてから  
ここに来るようにと  
指示した…

勿論、いつもの様に  
楽しい…幸せな  
恋人との時間を  
過ごしていいと…





校内で人知れず  
むしろ  
いつも以上に  
いちゃいちゃと  
していいから…

心行くまで  
校内デートを  
楽しんできてくれと  
伝えておいた

どっぴんちん...

どっぴんちん...

というわけで…  
この3人は  
ついさっきまで  
彼氏と一緒にだった

プラトニックな  
青春らしい  
恋人同士の時間を  
過ごしてきたばかり  
というわけだ

どうだ…？

恋人との…  
仲睦まじい時間は  
楽しかったか？

当然です！

それで…  
私たちにこれから  
何をさせようって  
いうんですか？



そう…そうよね…  
私たち彼氏に会った  
ことで、決意がより  
固まった気がする…



もう  
この間のような  
ことは…

わ…私も…  
みっちゃんと会って…  
改めて…好きだって  
感じた…



わ、私っ…今日は  
こないだみたいなの  
ことは絶対しません！

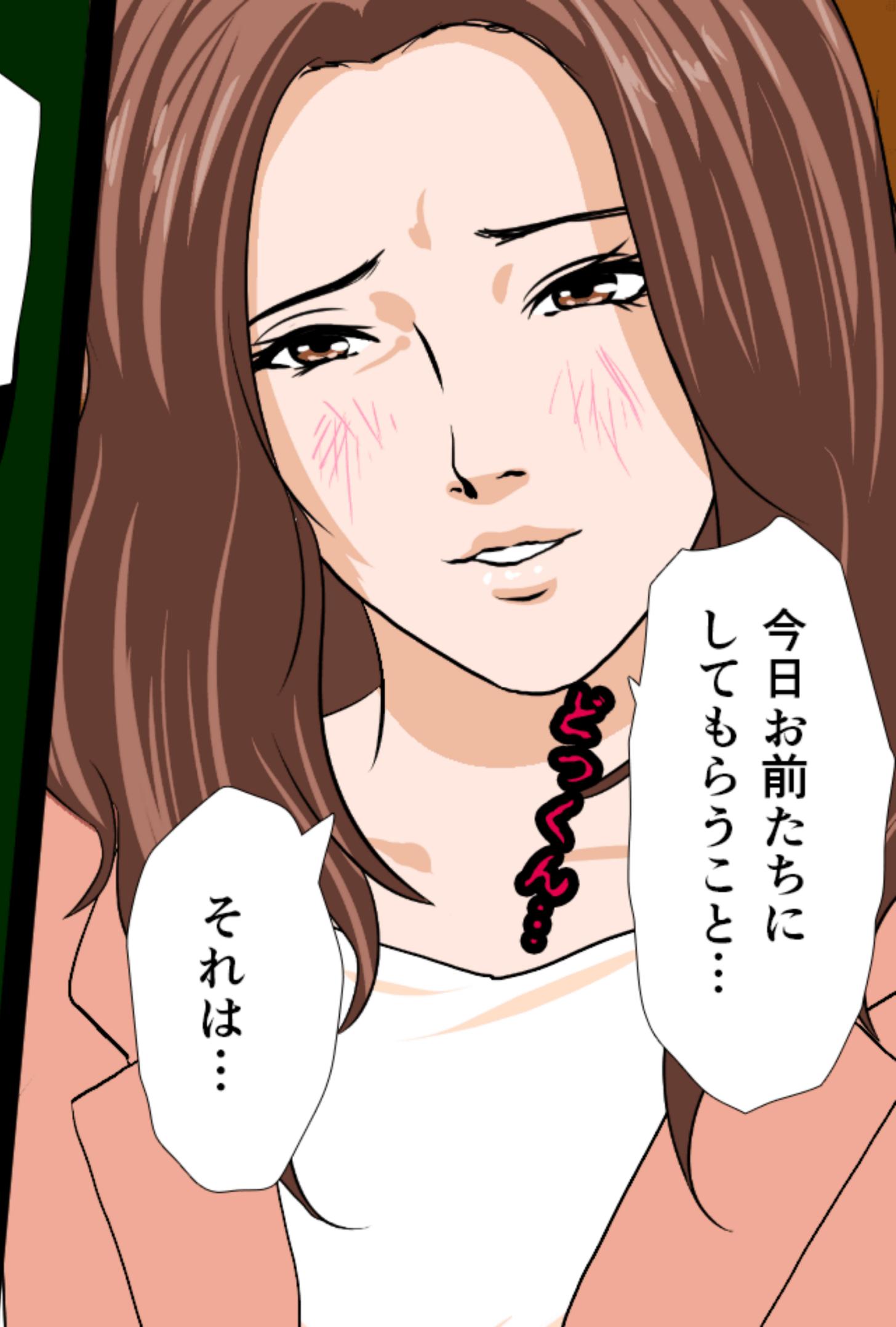
ふふふ…何を  
させられる想像をして  
来たのやら…

何をさせる  
つもりだったか  
知りませんが…  
今日は絶対  
こないだみたいなこと  
しませんから！



.....!

...うん...



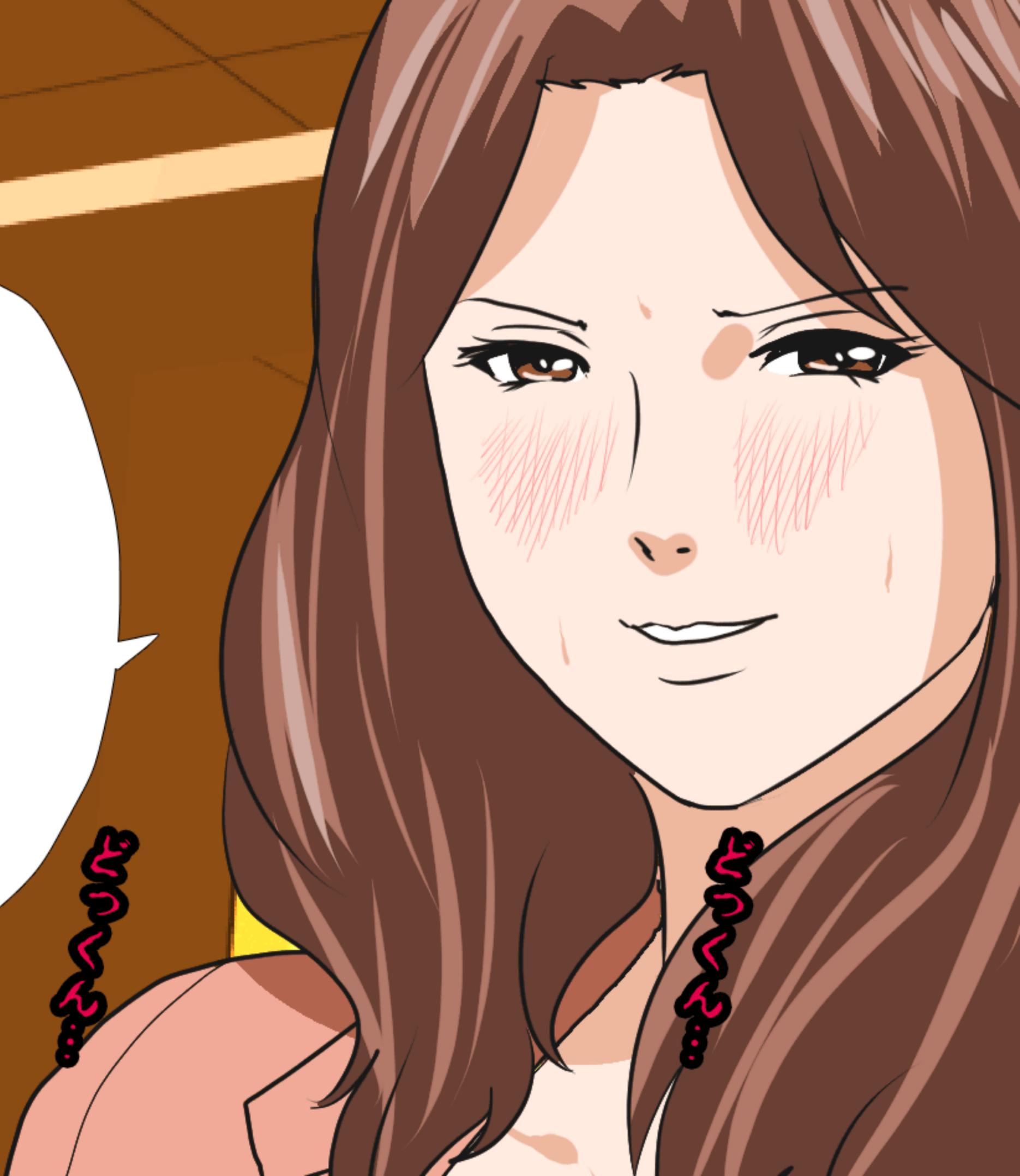
それは...

今日お前たちに  
してもらうこと...

ハグ……だ

……

……



……っ!?

は……ハグ……?

は……ハグって……  
だ……抱き合うって  
意味の……

そうだ……  
ただ抱きあう……  
それだけだ……

えへへ……

えへへ……



今日はこれから  
一人5分ずつ…  
彼とハグをしてもらおう

それが…彼との  
ステップアップに  
悩むお前たちのための…  
カリキュラムだと  
思ってくれ



.....

.....

.....  
!?

で…でもそれって  
キスしたりとか…  
いやらしく体を  
まさぐられたりとか  
するんじゃないんですか？  
それだったら私…

勿論、そういうことを  
したければしてもいいが…  
普通に健全なハグを  
するだけでもいい…

ほ…ほんとに  
ハグ…だけ…？

あーっ

ど…どうする？  
ほんとにハグする  
だけだって…

それくらいだったら私…  
それで本当に  
恋のステップアップの  
練習になるのなら…

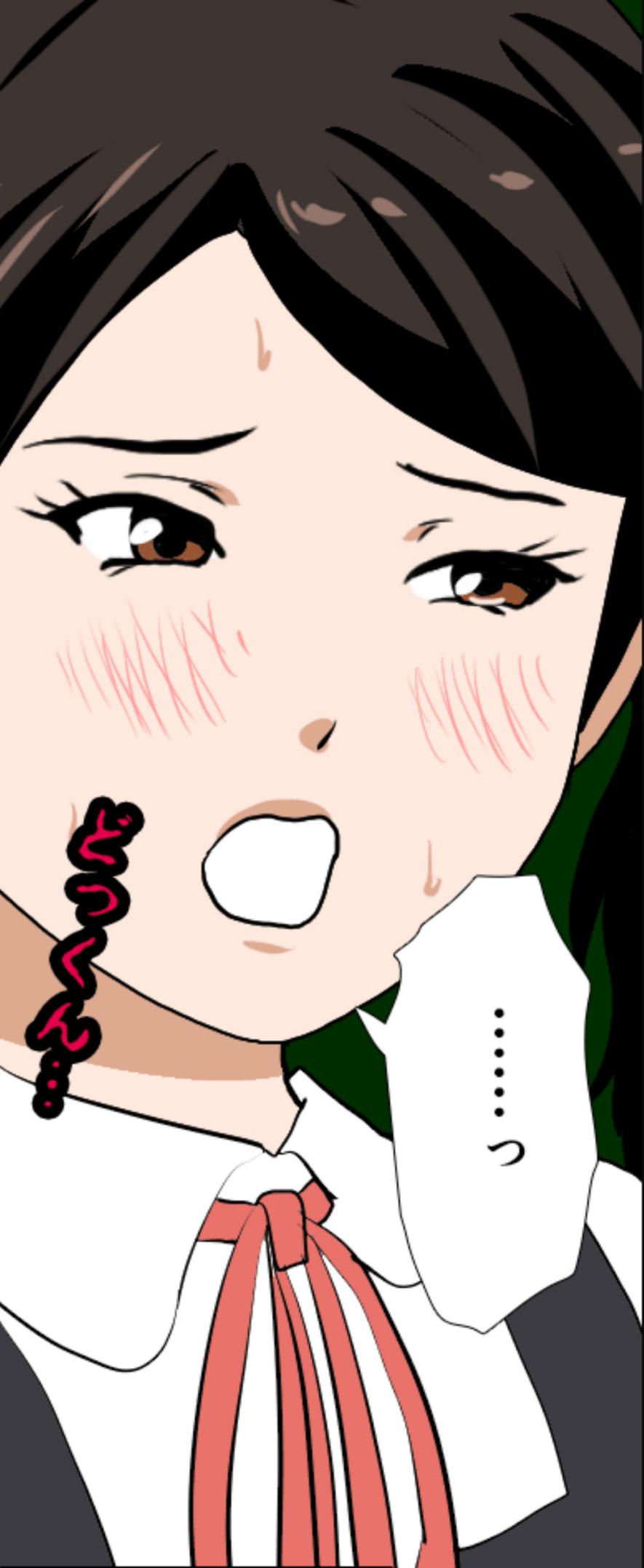
でも5分って  
結構長いよね…

あーっ



ふふ…  
どうする？  
お前たちが自分の  
恋愛をそのままできると  
思ってるなら  
強制はしないが…

少なからず  
悩みがあつて  
ここに来たのだらう？





「ハグをすすめるだけ」

という拍子抜けする

紫藤先生の指示……

しかしそれでも

彼と会って来た

ばかりだからか

彼女たちはしばらく

悩んでいたようだ……

えい……

私…やります…

ほんとにハグすれば  
いいだけなら…  
私も…やるわ

そうね…うん、  
ハグなんか  
友達同士でも  
しておかしくない  
ものだもん…  
私もやる！

どっぴんちん…

どっぴんちん…

An anime-style illustration of three young women sitting at a table. They are wearing dark blue or black sleeveless dresses over light-colored long-sleeved shirts with red bows at the neck. The woman on the left has short dark hair and a thoughtful expression with her hand to her chin. The woman in the middle has long dark hair and a slightly annoyed or determined expression. The woman on the right has long dark hair and a neutral expression. The background is dark with some orange and red tones, suggesting an indoor setting like a cafe or classroom.

しろうして…

僕は3人と

ハグを

することだ

なった



どうして今更

ただのハグ？

本当にただ

ハグをすするだけ？

いくつもの疑問が

猛烈に頭を

駆け巡ったが…

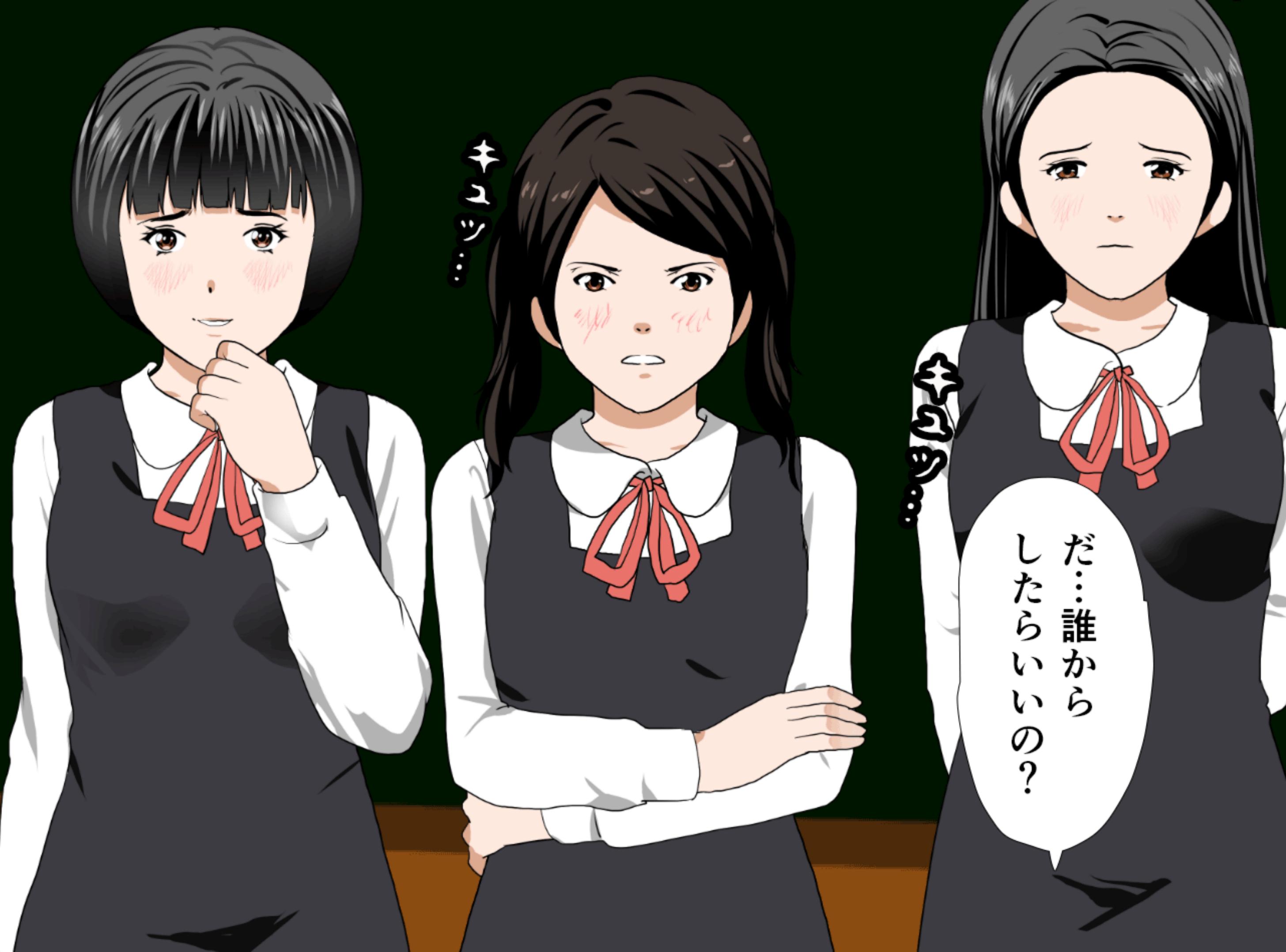


じゃあ…  
じゃあ  
いくよ…



たた

たた



キミが...

キミが...

だ：誰から  
したらいいの？



じゃあ  
私から…



いいわ…

おんおん…



びんごう...

あゆし...

わ...わかってるよ...  
ハグだけ...だろ?

んっ...



ちよ...ちよつと  
変なところ  
触ったら殺すからね



あゆし...

いきます...

じゃあ...



密着……して……る……

なんだろ……

こうして腕を

回してらると……

物体感がある……

女子の身体の

大きさを……

柔らかさを

感じる……

あ……

……

時間が経つと……

少しずつ体温が

伝わってきた……

……

……





.....

ハグ……だけ……  
ハグ……だけ……  
うん……



抱きしめ  
られてるだけじゃなくて  
女の子の方も腕を  
回さなきや……

どっくん



ちよつとちよつと……  
私ハグって言った  
でしよう？



丹科先輩…

いめん…

いめん…

いめん…

わあ…これ…なんか  
恋人みたいなこと  
してる感じが…強いな…

どっくん…

どっくん…

おまけに  
か…彼女の心臓が  
バクバクいってるのが  
わかる…

罪悪感…

なんかこれ…  
すっごい  
罪悪感感じる…

きゅんきゅん…

きゅんきゅん…



どうして……？  
ただハグ  
してるだけなのに……

ついさっきまで  
先輩と会ってたから？

それなのに  
こんな……  
恋人っぽいこと  
他の男子としてる  
から逆に……  
感じるのかな



こ…こんな  
女子と身体が  
密着してて…

女子の身体の…  
リアルな触感…  
感じてたら…

し…シたく  
なるのは…  
当然だろ…！

彼…シタいんだ…  
私と…

私と…シタいって  
思っちやってる  
んだ…

そんな男子と...  
私...

抱き合ってるんだ...  
しかも自分から  
手を回して...

ぶっくわん...

ぶっくわん...



だめだだめだ…!!

そうだ!

先輩のこと

考えなきや…!!

部活中で忙しいのに…  
私のわがままに  
つきあってくれて…  
さっきまでお話してた…

やさしい先輩…





あの丹科先輩の  
さわやかな笑顔を…！

さっきまで  
私に向けられてた…  
丹科先輩の顔を…  
思い出して…！







先輩...  
ごめん...

...

どっしょん

どっしょん



やばい...

こんなもの...  
5分も...  
するの...?

ジュンジュン...

ジュンジュン...

罪悪感で…  
押しつぶされそう…!!

…と…

…と…



うう…先輩…





そろそろ5分ね…  
次…誰にする？



そろそろ…



……っ？

えっ……

な……なんか  
ハグしただけの  
わりには……

……

すっごい  
苦しそうだな……  
東浜さん……

その後もー

一人ずっ…

僕のハグを受けただが…



…  
一様に…

みんな…ハグしてる  
だけの割りに…

苦しげな  
表情を浮かべ…





ケンちゃん…  
ごめん…ね…

やだ…  
すっごい罪悪感…

……っ？

……っ？

……っ？

おかし...  
...

...かし...

よ...よし  
と...**田中**...  
い...かし...

う...ん...  
うん...  
...

**おかし...**

**おかし...**



な…なんかこれ…

思ってたより  
ドキドキするね…？

あ…あっさままで  
会ってた分…  
みっちゃんのこと  
裏切ってる気がして…

……っ！

「どきどきどきどき」

……か……

その罪悪感を……

ドキドキするって

認識しちやマズいよ

柘田さん……

……どきどき……

……どきどき……





みっちゃん…

ああ…

…



…

…

今日はもう…  
みっちゃんに  
会えないや…

多分…  
まともに  
顔…見れない…

だんだん…

紫藤先生が

何をやらせてるのか

わかってきた…

…さっしり…

…さっしり…



浮気こそ…  
本当の愛を  
確かめる最大の  
行為なのだがな…

## 前回の授業で…

まあ確かにされる側の  
男性にとっては…  
初めは辛いことかも  
しれないが…

そうよ…  
女性にとって  
浮気は…とても  
大切な過程と  
なりうるもの…

女性なら  
誰しも秘めている…  
本能や本当の愛に出会う  
素晴らしい行為なのよ

う…

う…浮気が  
幸せ？  
何言ってるの？

絶対  
そんなわけ  
ないよ…

う…浮気なんか  
したら…絶対  
みっちゃんを  
傷つけちゃうし…

し…  
信じられない…！

ま…まさか  
先生が  
こんなこと  
言うなんて…！

う…

浮気について…

う…浮気が  
幸せ？  
信言ってるの？

好きな人を

裏切る行為について…

う…浮気なんか

絶対  
そ  
ないよ…  
明確な拒否反応を

したら…絶対  
やんを  
傷つけちゃうし…

示していた3人…

し…  
信じられない…！

ま…まさか  
先生が  
こんなこと  
言うなんて…！



あれ……？

はいー  
そろそろ5分よー

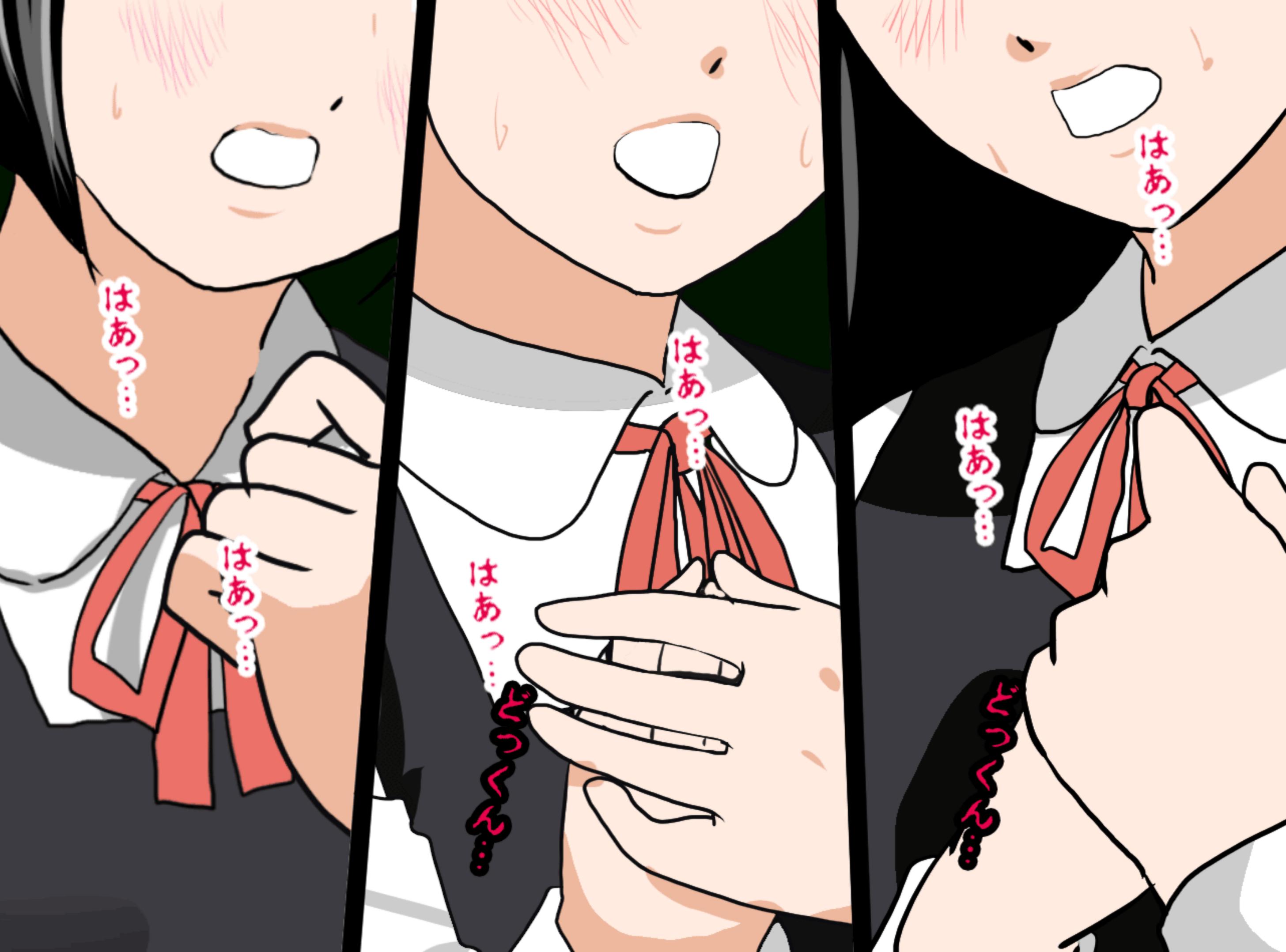
待てよ……

とろろろろろろろろ……

とろろろろろろろろ……

とろろろろろろろろ……





はあっ...

はあっ...

はあっ...  
はあっ...

はあっ...

はあっ...

はあっ...

はあっ...



先生たちの様に...

どきどき...

はあっ...

さて...どうだった?  
本当にハグする  
だけだったろう?

はあっ...

どきどき...

はあっ...

はあっ...





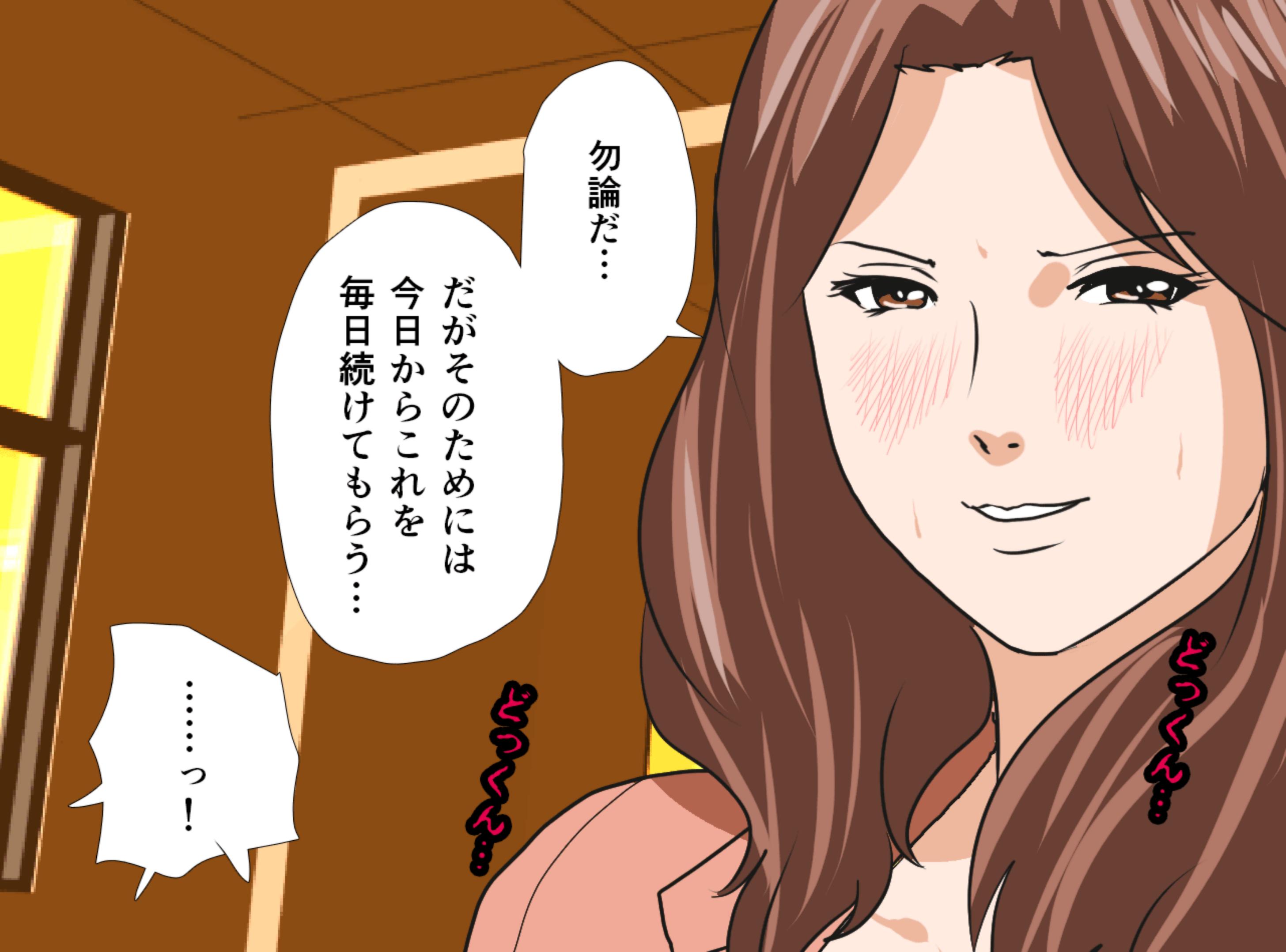
勿論だ…

だがそのためには  
今日からこれを  
毎日続けてもらう…

……！

……

……



ま...毎日...?

そうだ...

それともう一つ  
毎日やってもらいう  
ことがある

ふんふん...

ふんふん...





や…やっぱり  
そんなこと…！

い…今の  
ハグを思い出して  
わ…私たちにオナニー  
しろって言うんですか！

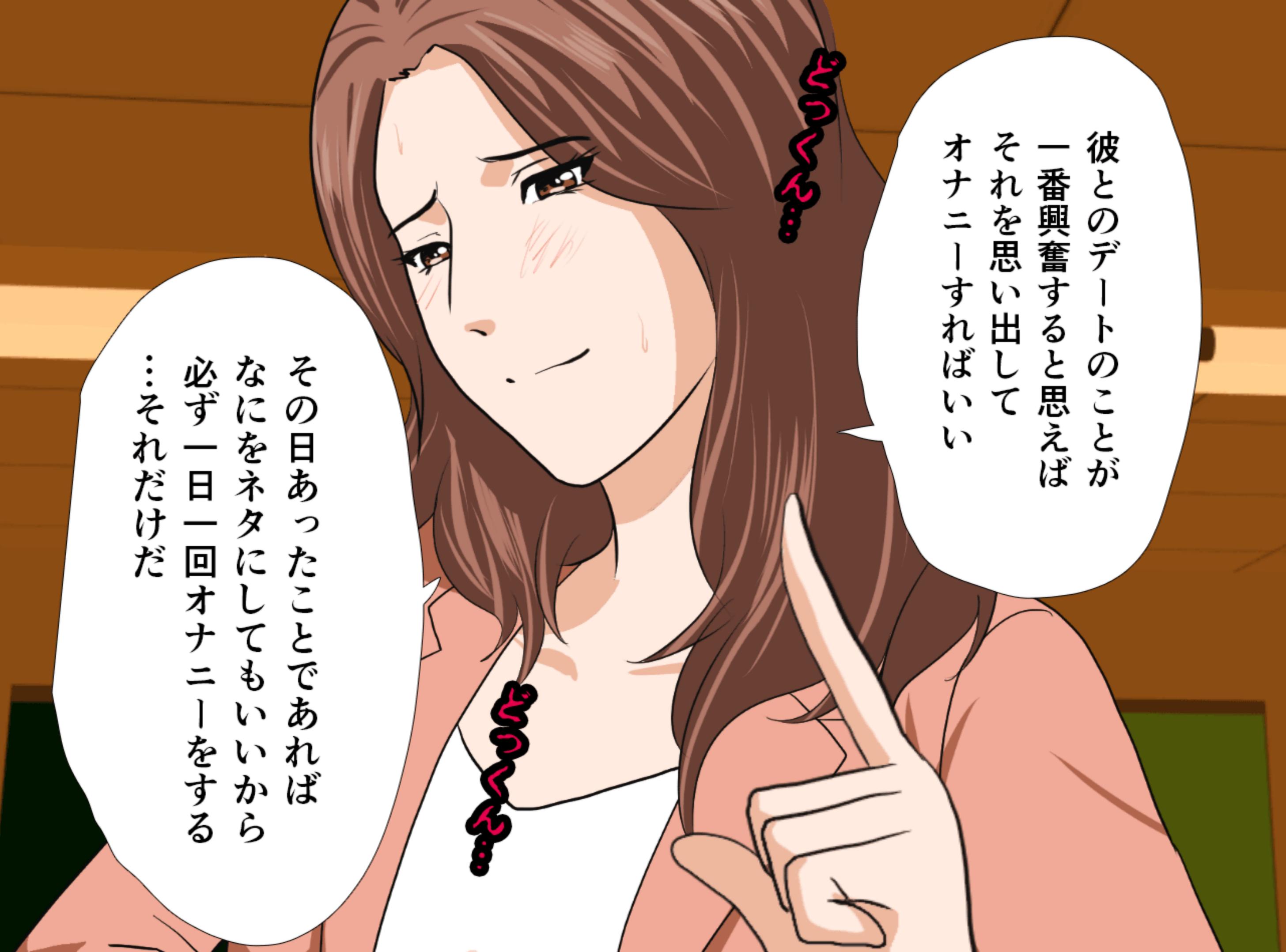
どっくどっく…

そ…そんなの  
できるわけない！  
あくまで  
私たちはそれぞれの  
彼氏が好きなの！

別にそんなことは  
言っていない…

どっくどっく…

「今日のことを  
思い出して」  
といっただけ…  
何を思い出すかは  
あなたたちの自由よ



彼とのデートのことが  
一番興奮すると思えば  
それを思い出して  
オナニーすればいい

その日あったことであれば  
なにをネタにしてもいいから  
必ず一日一回オナニーをする  
…それだけだ

そ…それで  
いいの？

勿論だ…

それなら…  
勿論私は  
先輩のことを  
思い出して…  
する…ただだけど…

そのかわり  
今日やった一連の  
ことを…  
毎日続けて  
貰うぞ…？

一時間ほど  
校内デートをし

！…

いいか…  
キミらはこれから  
放課後必ず  
それぞれの彼氏たちと…

そして放課後…  
ここにきて…

先ほどと  
同じように  
彼と5分間ハグ…



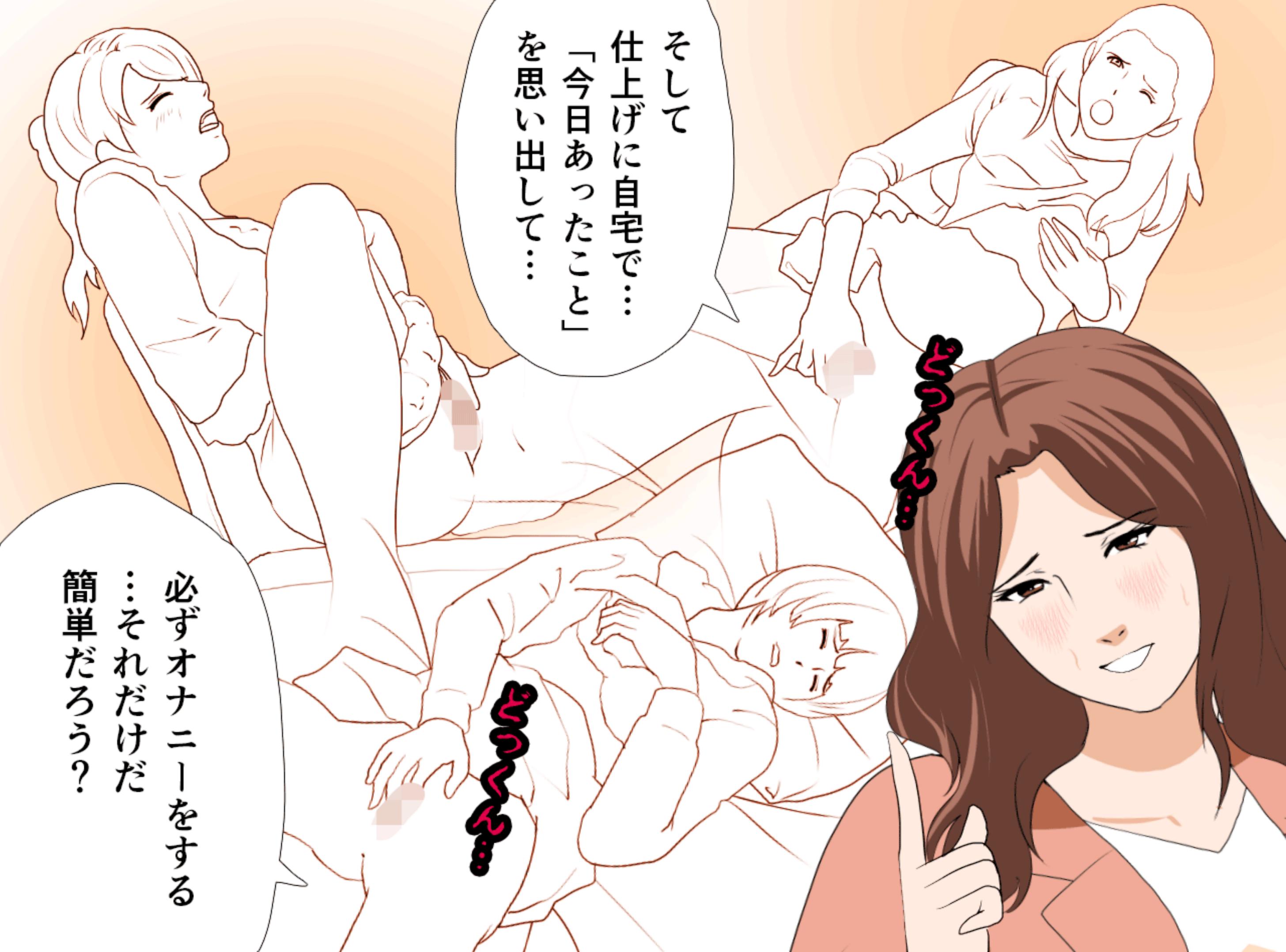
勿論：今日と同じく  
普通にハグするだけ…  
でいい…

そして  
仕上げに自宅で…  
「今日あったこと」  
を思い出して…

必ずオナニーをする  
…それだけだ  
簡単だろうか？

えんじゅんじゅん

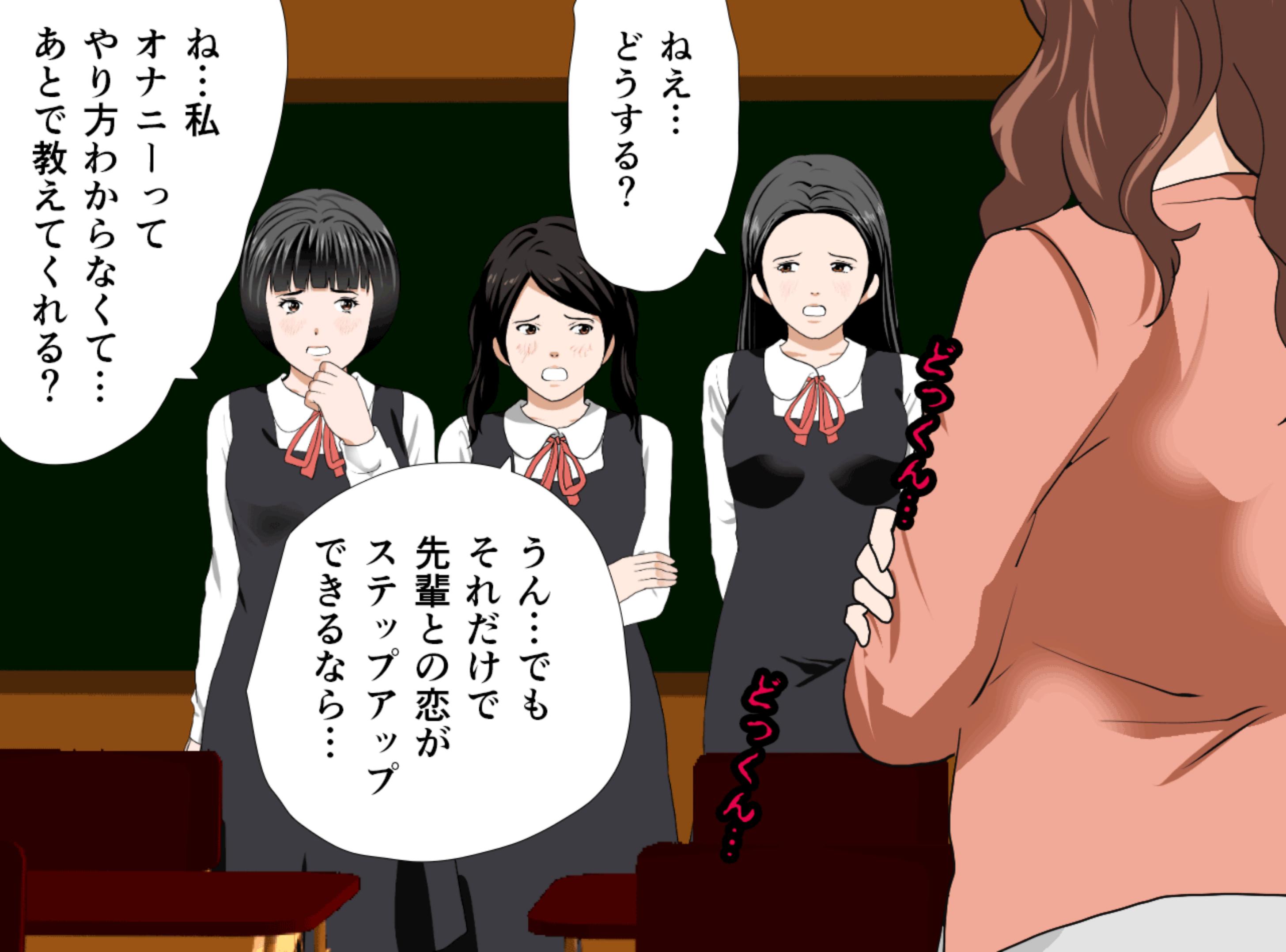
えんじゅんじゅん



ねえ…  
どうする？

うん…でも  
それだけで  
先輩との恋が  
ステツプアツプ  
できるなら…

ね…私  
オナニーって  
やり方わからなくて…  
あとで教えてくれる？





かぐわしー!!!

彼女たち3人に対する

「性教育の授業」  
とも

いうべき...

恐るべき実験のような

授業がこの日から正式に

始まった...



この時…僕はまだ  
知らなかつた…

この授業がやがて…

彼女たちの母親たちをも

巻き込み…

とんでもない出来事くと



発展しててくらくらムキアホ……!

An anime-style illustration of three young women standing in a room. They are wearing dark, sleeveless dresses over light-colored long-sleeved shirts with red bows at the neck. The woman on the left has short brown hair and is looking thoughtful with her hand to her chin. The woman in the middle has dark hair and is looking forward with a serious expression. The woman on the right has long dark hair and is looking slightly to the side with a neutral expression. The background is dark with some architectural lines. Large white text with black outlines is overlaid on the scene.

だがそのことを

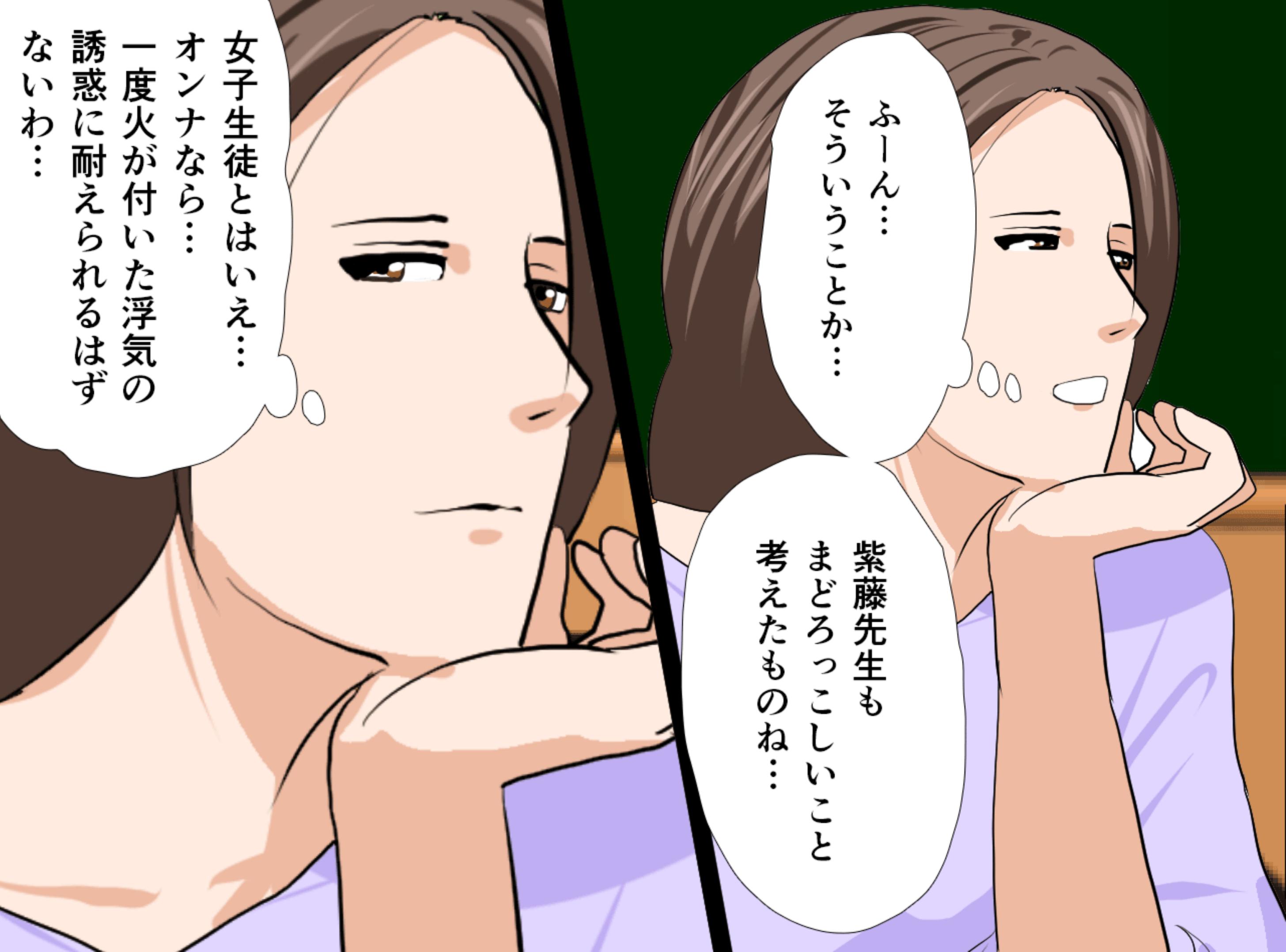
僕が知るのには…

まだ少し先の

話だった…

ふふ…  
彼女たちの  
純愛が勝つか…

浮気の背徳感を  
求める女の本性が  
勝つか…  
非常に楽しみだわ…



ふーん…  
そういうことか…

紫藤先生も  
まどろっこしいこと  
考えたものね…

女子生徒とはいえ…  
オンナなら…  
一度火が付いた浮気の  
誘惑に耐えられるはず  
ないわ…



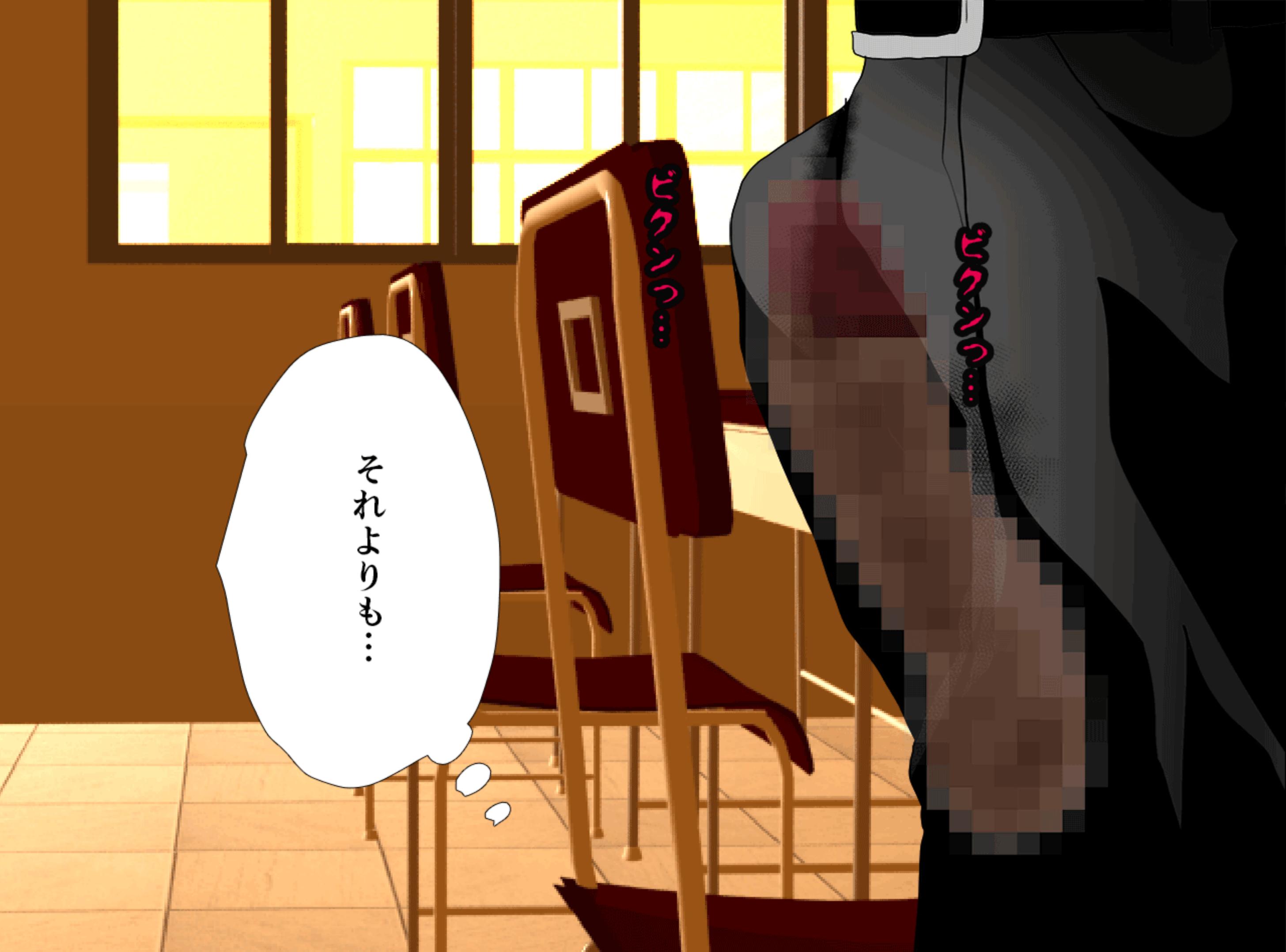
いずれ彼女たちも…  
最愛の男性の名を叫び、  
謝りながら…  
彼のチンポで  
オナナの歡びを…  
知らされるわね…

私たちが  
そうであったように…

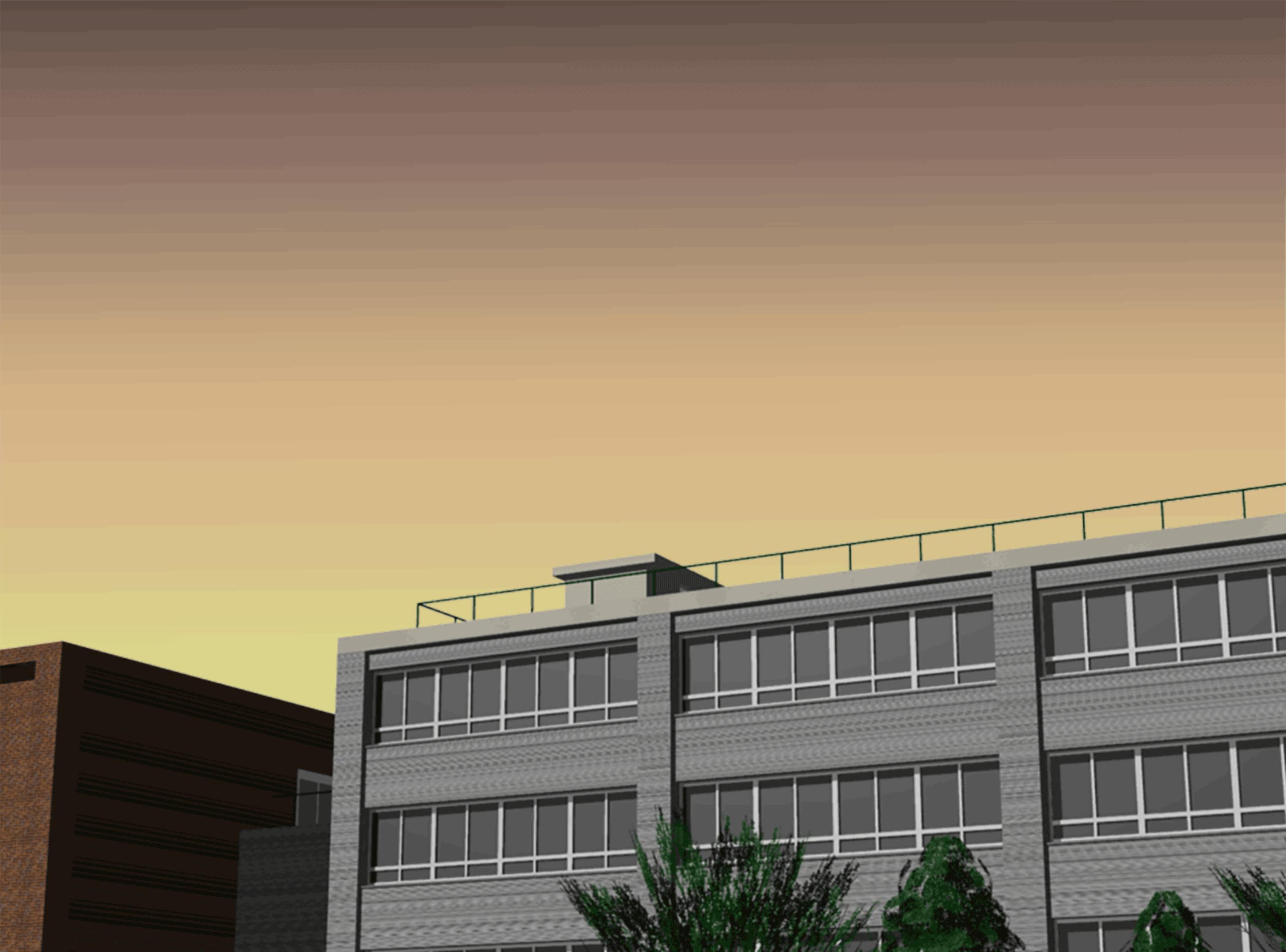
それよりも……

……

……



催眠式教育





.....!!

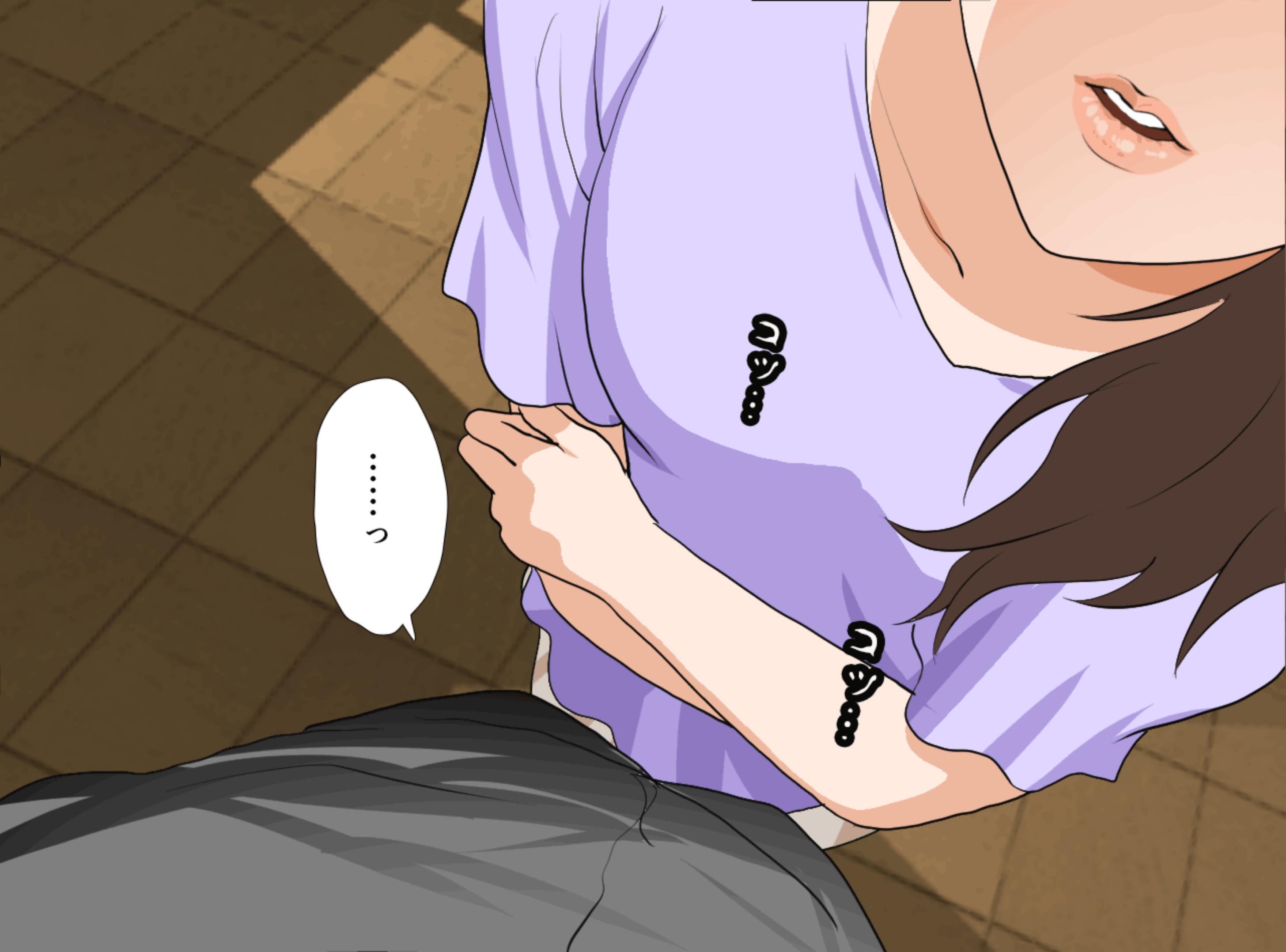
待ちなさい



カシッ...

カシッ...

.....



.....



.....  
!!

fo...



えっ…  
ちよっ…あのっ



もうすっかり  
パンパンじゃない…

やっぴい…

ぱんぱん…

ぱんぱん…



さっきの授業で…  
興奮…しちゃった  
んでしょ…

それなのに  
中途半端に  
終わっちゃったから…  
こんな…

だめじゃない…  
こんなままで  
放っておくのは…  
身体に悪いわ…

え…あの…

先生…さっきまで

怒ってたんじゃない…

…うん…さつきは  
私もイライラしちや  
ってた…ごめんなさい…

あなたと…原崎先生が  
仲いいところ見てると…  
何故か…イライラ  
しちやって…

でも…  
あなたのココが  
こんなになってるのを  
見ちゃったら…  
そんなことも…  
言ってられないわ…!





A close-up manga-style illustration of a woman's face. She has light skin, pinkish-red hair, and is wearing a purple top. Her expression is neutral. A speech bubble is positioned to the right of her face. On her neck, there are two vertical piercings, each with a decorative, stylized element. The background is dark with some vertical lines.

良かったら…  
私のおまんこを…  
使って…？

あなたのオチンポが…  
こんなになってるのに…  
恋人として…  
見過ごせないわ…

今からトイレでも…  
保健室でも…いいえ…  
今ここでも…！  
今すぐ私の  
おまんこ使っていていいから…  
溜まってるもの…  
全部出して…？

……っ！

も……杜戸先生が……

こ……こんな顔で……

こんな言葉を……！

……っ……

……っ……

あ...あの...  
でもっ...

何...?

やっぱり  
原崎先生に...これも  
処理...させるの？

それとも…もう…  
原崎先生の方が…

好きになっちゃった  
…とか？

そ…そそ…  
そんなことないです！

勿論…原崎先生のことも  
好きですが…

僕にとって  
杜戸先生は…  
永遠のあこがれの  
先生で…！



ただ…一緒に帰るって  
約束しちゃってて…

ただでさえ今日  
遅くなってるし…  
もうずいぶん  
待ってるかも…!

や…約束しちゃってた  
ことについても  
や…やっぱり  
か…帰るところが  
一緒なんで…

帰るところが  
一緒だからって…

そんなの…

……！

……

……

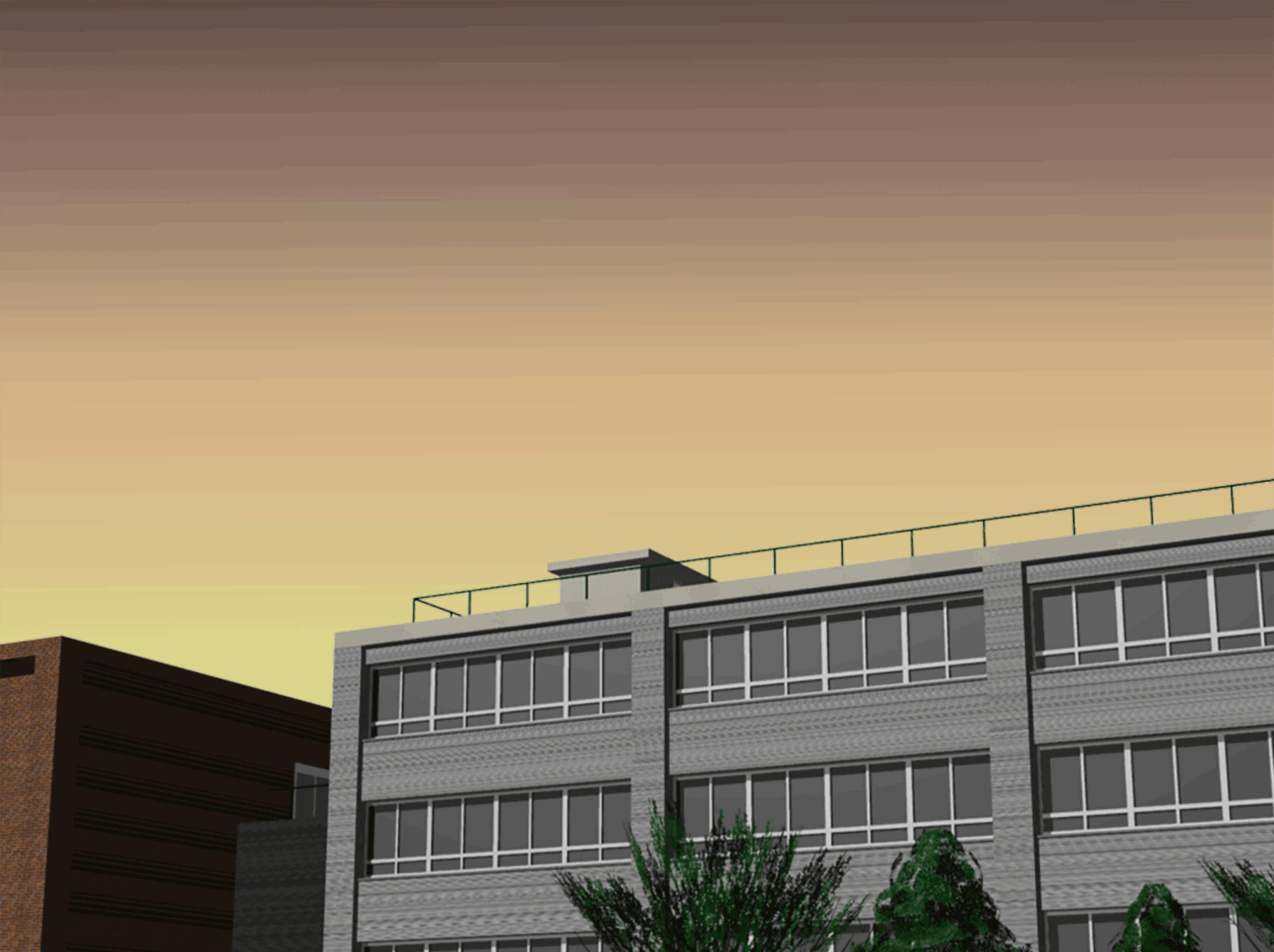


…そっか

……！

なんでこんな  
簡単なことに  
今まで気づかなかった  
んだらう…







……っ！



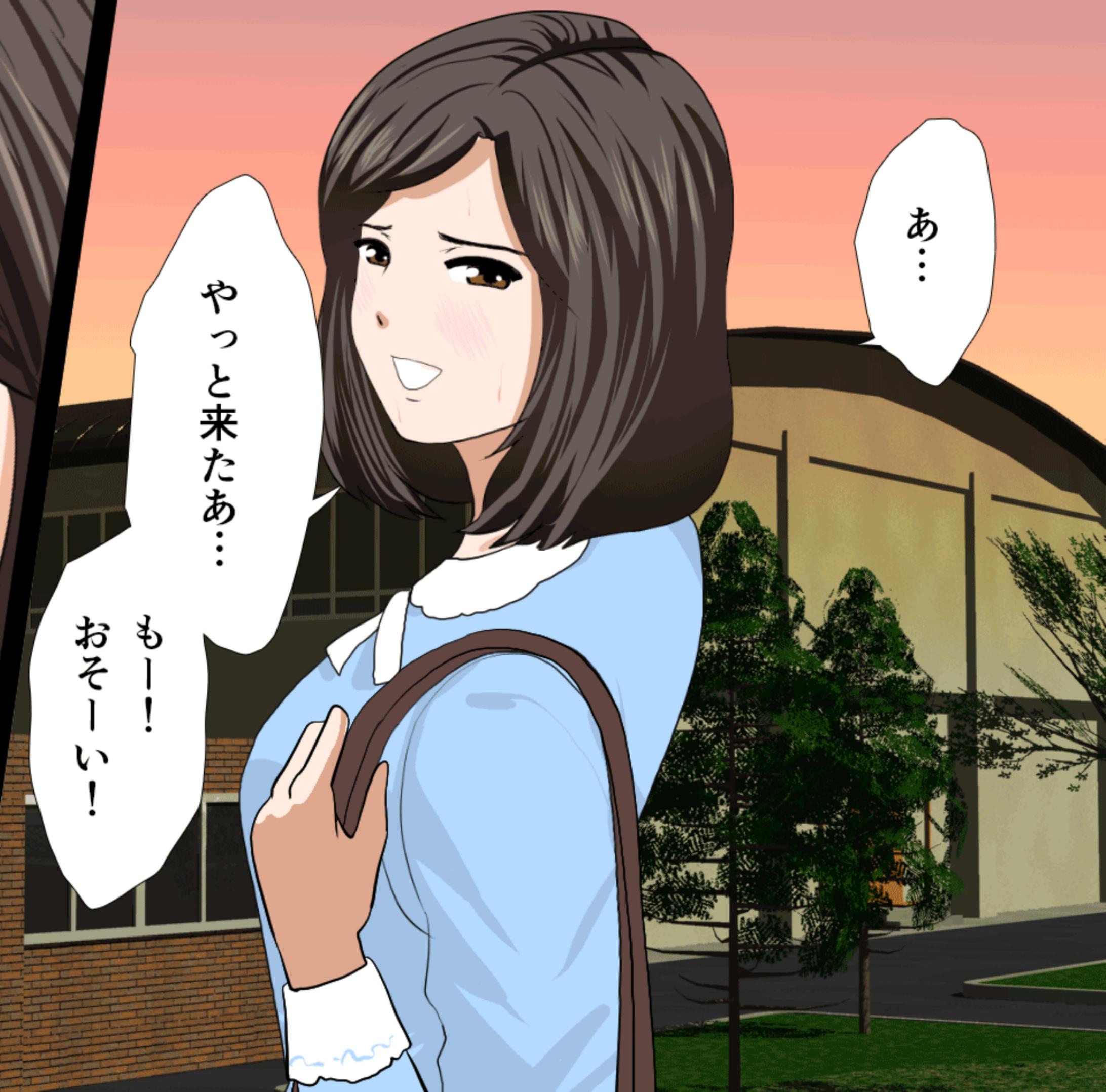
やっと来たあ……

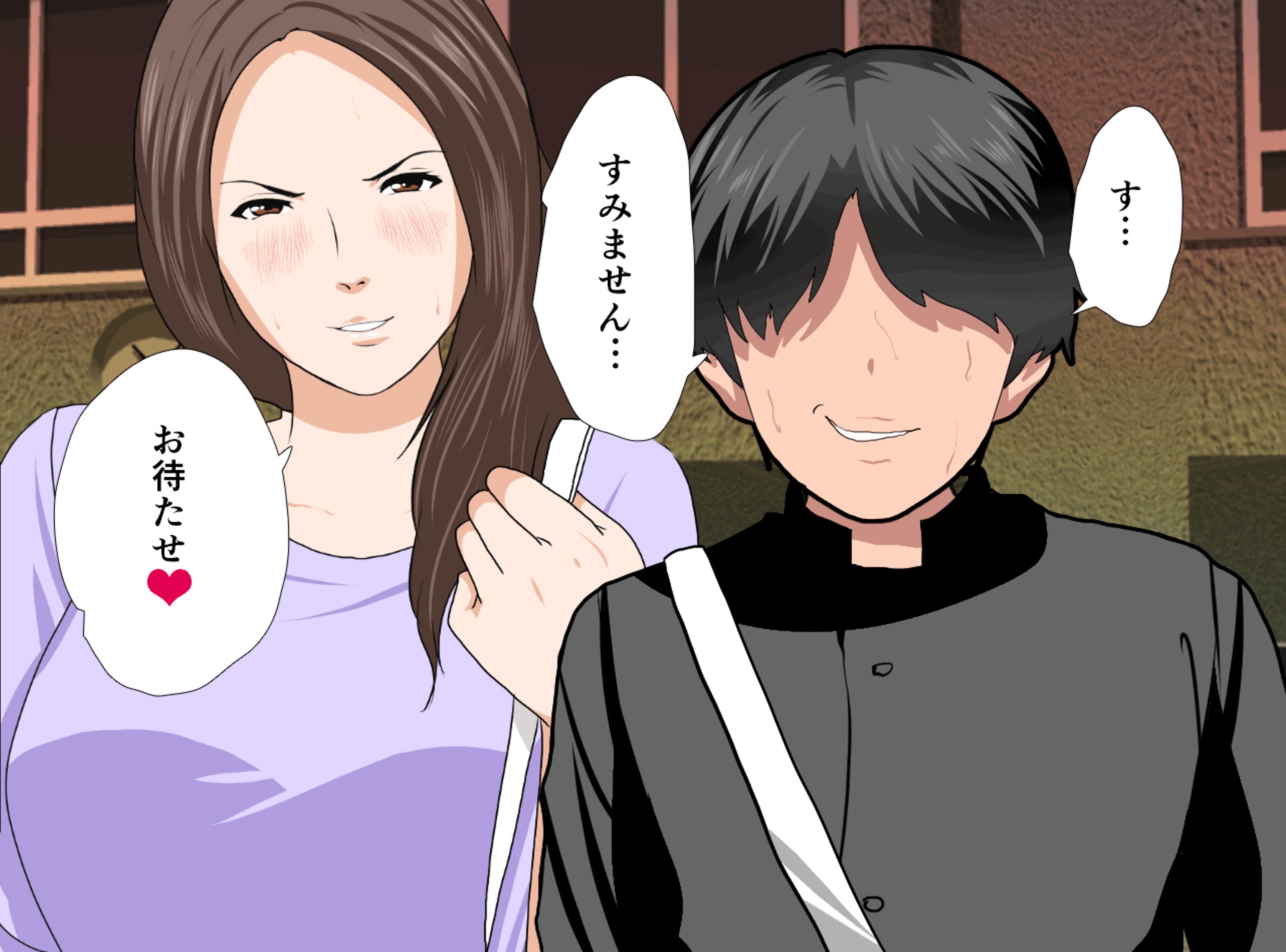


もー！  
おそーい！



あ……





お待ちませ



すみません...

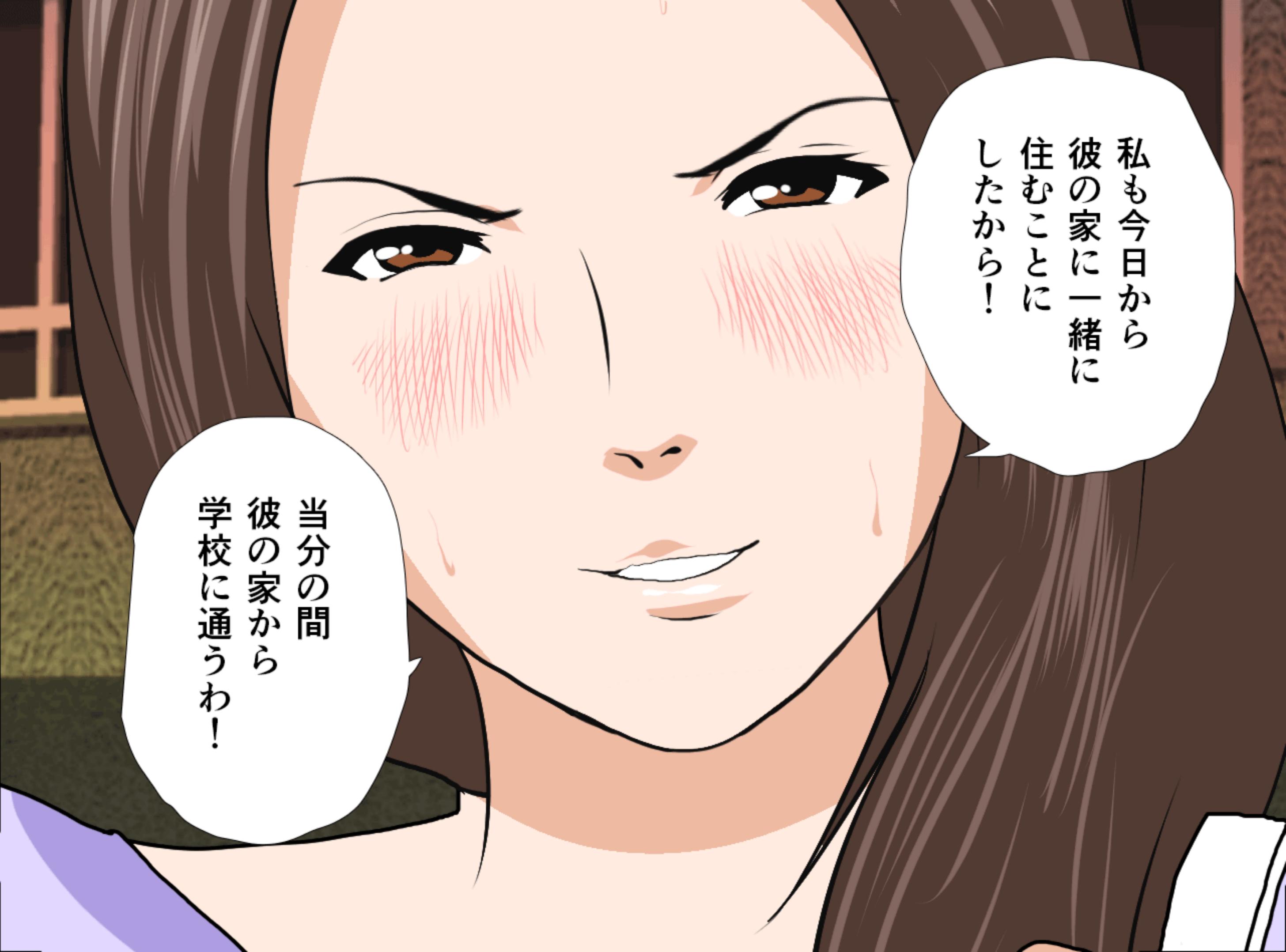
す...

どうしてって…  
私も一緒に  
帰ろうと思っ

え…？だって…  
杜戸先生の家は…

ど…  
どうしたんですか？

どうして  
杜戸先生が  
ここに…



私も今日から  
彼の家に一緒に  
住むことに  
したから！

当分の間  
彼の家から  
学校に通うわ！



だって…  
同じ彼の恋人なのに  
一人だけ同棲ってのは  
ズルいわ…

あなたの言うとおり、  
フェアにいきましょう

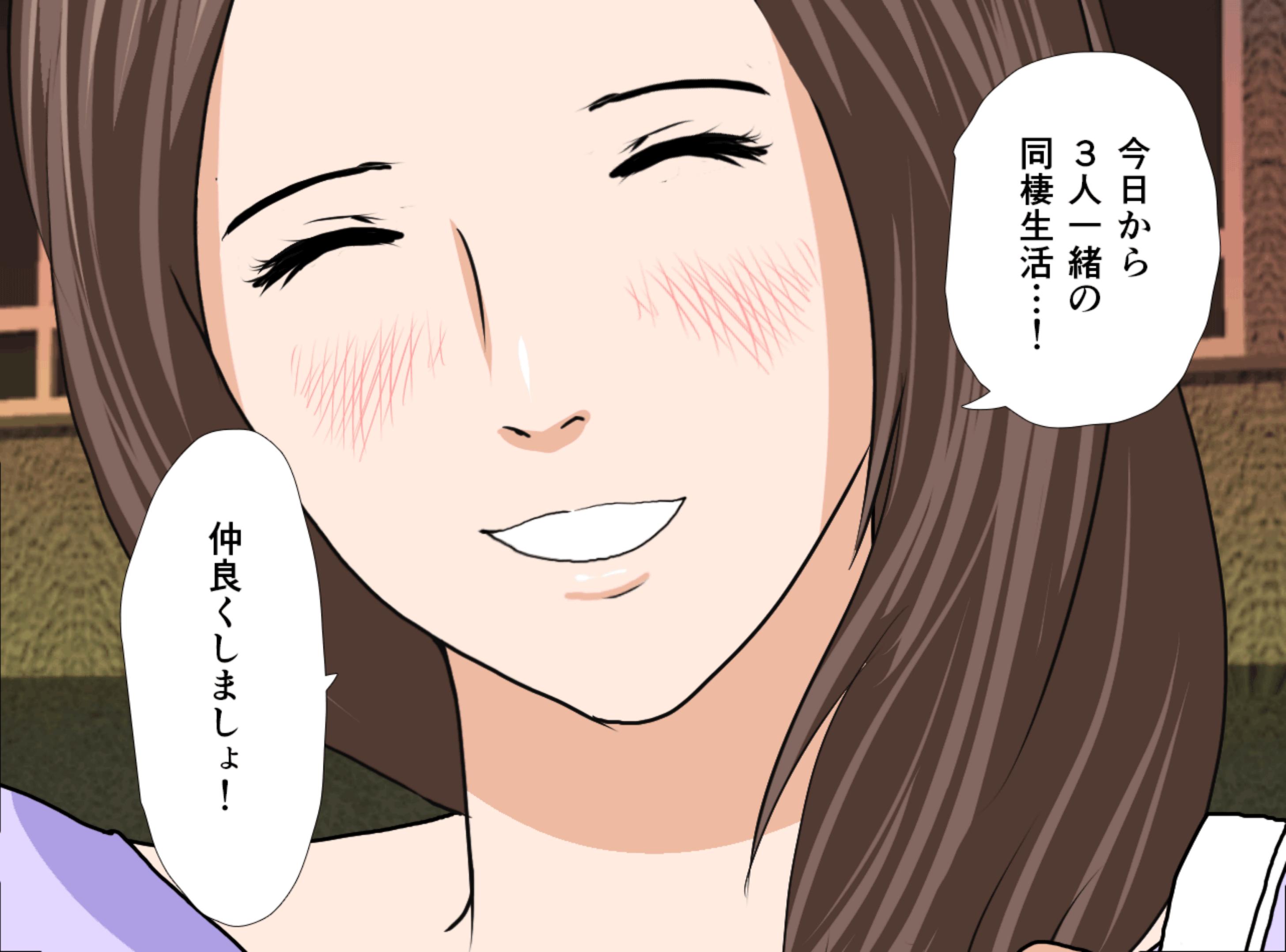


すみません…  
僕にはどうにも  
できませんでした…

入るかな…  
ウチに3人…

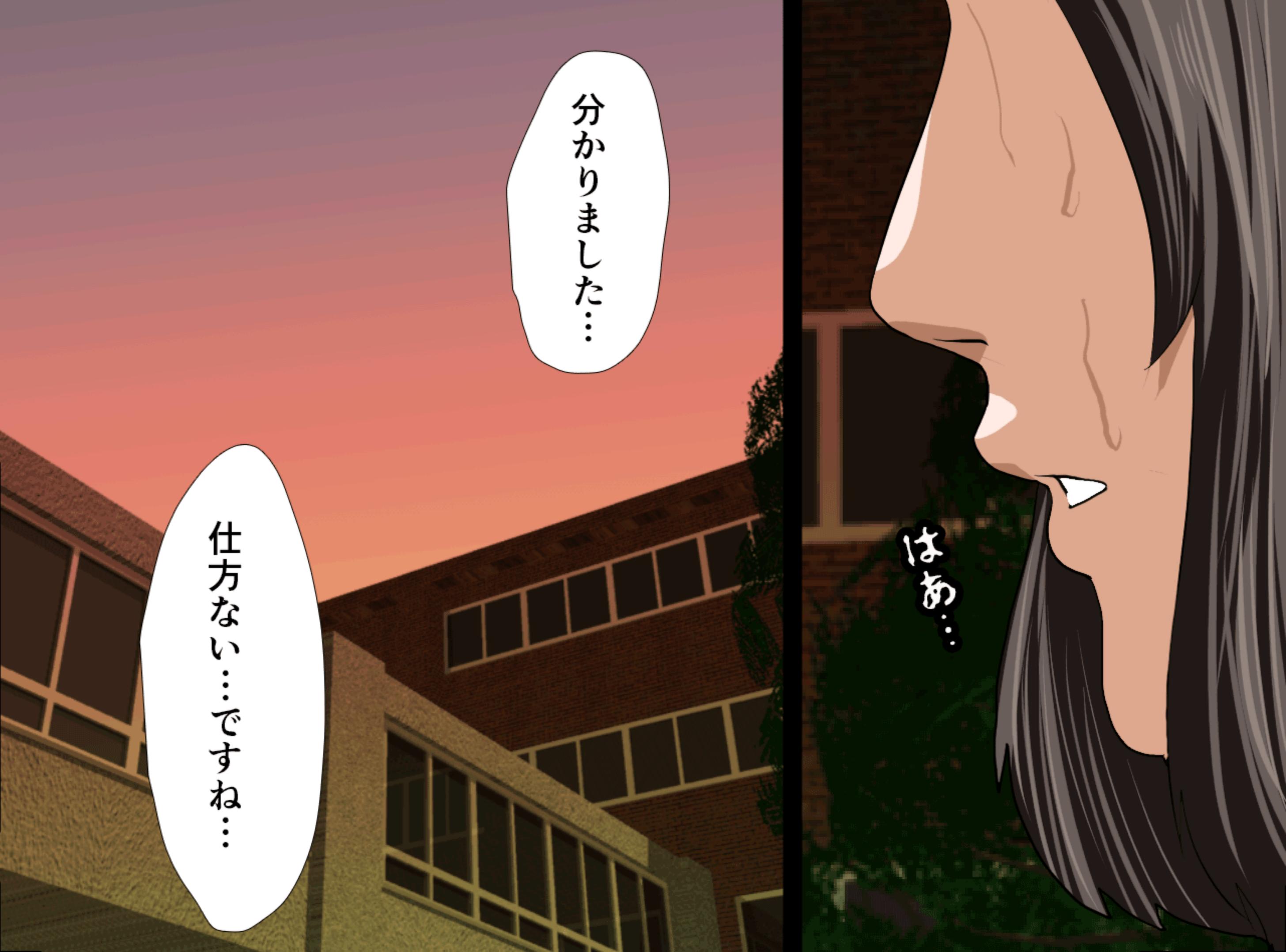


……



今日から  
3人一緒の  
同棲生活……！

仲良くしましょー！

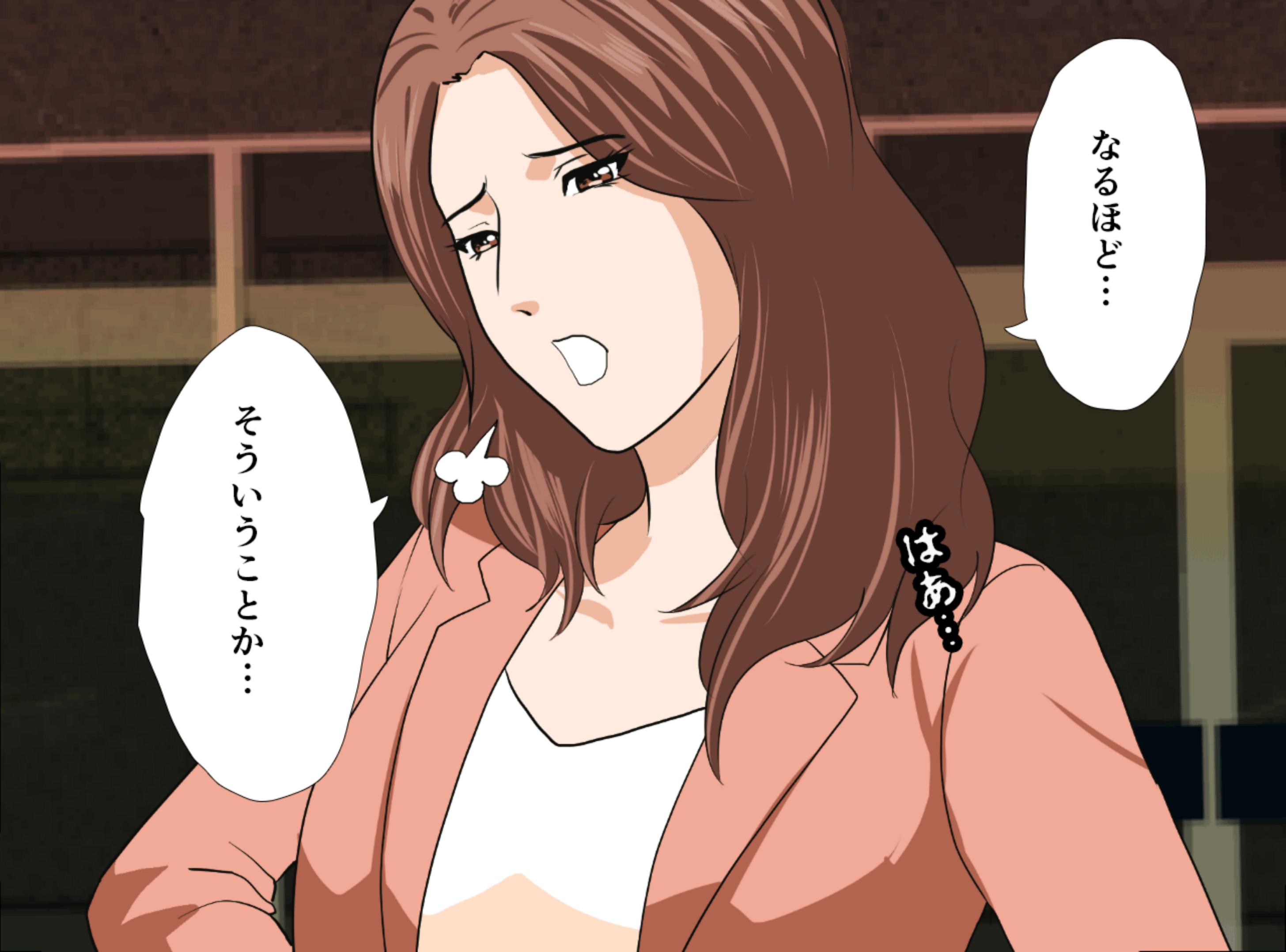


分かりました…

仕方ない…ですね…

はあ…





なるほど…

そうらうことか…

はあ



なにやってんのよ…

ほんとに…

体験版は以上になります！

続きはぜひ本編で  
お楽しみください…！